

---

# 第31回 廃棄物資源循環学会研究発表会 参加案内

2020年9月16日(水)～18日(金) 北海道大学 Web 開催

<https://jsmcwm.or.jp/taikai2020/>

主催:一般社団法人 廃棄物資源循環学会

後援:北海道、札幌市

## 目次

- 第31回 廃棄物資源循環学会研究発表会の開催にあたって
- 開催行事一覧
- 行事案内
  - ・第31回研究発表会開催セレモニー
  - ・特別プログラム(一般公開・無料)
  - ・国際シンポジウム・International Symposium(一般公開・無料)
  - ・緊急セミナー(一般公開・無料)
  - ・研究発表(口頭発表・ポスター発表・誌上発表・International Hybrid Session)
  - ・企画セッション
  - ・市民展示・環境学習施設展示(一般公開・無料)
  - ・企画フォーラム(一般公開・無料)
  - ・協賛企業・団体等展示(一般公開・無料)
- 参加申込方法
- 参加・発表ガイドライン
- オンライン会場への参加方法とZoomの使い方
- 実行委員およびオンラインワーキング
- 協賛企業団体
- タイムスケジュール(全体及びポスター発表用)
- トラブル・緊急対応(問い合わせ先)

---

## ～ 注意事項 ～

### 参加案内について

- ・研究発表会専用ページからのダウンロード(PDF)のみとなります。
- ・参加案内の情報は随時更新されますので、最新情報は大会ホームページにてご確認ください。

### 電子版講演原稿について

- ・研究発表会専用ページからのダウンロード(PDF)のみとなります。
- ・事前参加申込者には、電子版講演原稿の閲覧用パスワードを郵送します。

### 一般公開・無料の行事について

一般公開・無料の行事も含めてすべて下記のHPから可能となっています。<https://jsmcwm.or.jp/taikai2020/>

### 緊急連絡先等について

- ・台風や地震等の緊急時における研究発表会開催の可否等については、上記の研究発表会専用ページでお知らせします(携帯電話のweb閲覧機能には対応していません)。緊急時においては、北海道大学への問い合わせは厳にお控えください。また学会事務局への問い合わせもつながりにくくなることが予想されますのでお控えください。

### 連絡先

- ・廃棄物資源循環学会事務局:Tel. 03-3769-5099 またはメール[jimu@jsmcwm.or.jp]

## 第31回 廃棄物資源循環学会研究発表会の開催にあたって

第31回廃棄物資源循環学会研究発表会  
実行委員会委員長  
室蘭工業大学 准教授 吉田 英樹

初秋の札幌の北大キャンパスで第31回廃棄物資源循環学会研究発表会を開催すべく、2年あまり準備してまいりましたが、今般の新型コロナウイルス感染症対策のためWEB開催とすることになりました。

研究発表会の準備は例年実行委員会と学術委員会が中心に進めておりましたが、さらにWEB開催の技術面を支えるオンラインワーキンググループを組織していただき、ほぼゼロからの膨大で困難な準備作業を経て、大会の開催に至りました。

吉岡会長を始め、学会役員や事務局の皆さまには、多大なご支援をいただきました。また、市民展示と各部会の企画セッションではWEB開催のための例年にはないご準備をお願いいたしました。さらに、韓国廃棄物学会から研究発表へのご参加と韓国廃棄物学会からのセレモニーでのご挨拶もいただくことになっております。そして、大会運営の基盤の1つである協賛企業団体の各位様からは、WEB開催にもかわらず従前同様のご支援をいただいております。

ここで、改めて関係の皆さまに深く感謝申し上げます。

学会として初めての経験となりますが、研究発表、特別プログラム等の行事開催準備には様々な工夫を凝らしており、オンラインという新たな方法での学会員同士の情報交換や交流ができるのではないかと大きな期待を持っております。

参加者の皆さまにはおかれましては、様々な行事にご参加いただき、参加者の皆さまと新たに作り上げる研究発表会を盛会にするべく、ぜひご協力をいただけますようお願いいたします。

## 開催行事一覧

行 事		日 時(すべて9月)	会 場	備 考
開催セレモニー		17日(木) 15:00 ~ 15:30	北海道大学工学部フロンティア 応用科学研究棟 2F レクチャー ホール+オンライン	一般公開 参加登録不要
特別プログラム		17日(木) 15:30 ~ 17:00		
国際シンポジウム		18日(金) 10:00 ~ 12:00	オンライン	使用言語: 英語 一般公開
緊急セミナー		18日(金) 19:00 ~ 20:30	オンライン	一般公開
研 究 発 表	一 般 セ ッ シ ョ ン	口頭発表 16日(水) 10:00 ~ 16:15 17日(木) 9:00 ~ 12:15 18日(金) 10:00 ~ 11:30	オンライン	発表 10 分間 + 質疑応答 5 分間
		ポスター発表 (Web 掲載) 16日(水) 10:00 ~18日(金) 16:15 (質疑) 16日(水) 16:30 ~ 17:50 17日(木) 13:15 ~ 14:35	ポスター: Web 掲載 質疑: オンライン	フォーム形式での 質問受け付け  質問受付: 17 日まで (これ以降の質問には回答が ない場合があります)
		誌上发表 (Web 掲載) 16日(水) 10:00 ~18日(金) 16:15	講演原稿: Web 掲載	回答締切: 18日 13:00
	国際セッション	口頭発表 16日(水) 13:00 ~ 16:15 17日(木) 9:00 ~ 12:15	オンライン	使用言語: 英語 口頭発表 5 分間 + 質疑応答 5 分間 ポスター Web 掲載: フォーム形式での質 問受け付け
		ポスター発表 (Web 掲載) 16日(水) 10:00 ~18日(金) 16:15 (質疑) 16日(水) 16:30 ~ 17:50 17日(木) 13:15 ~ 14:35	ポスター: Web 掲載 質疑: オンライン	
企画セッション		18日(金) 10:00 ~ 16:15	オンライン 詳細はタイムスケジュール表をご確認ください	研究部会・若手の会 企画
市民展示・ 環境学習施設展示		16日(水) ~ 18日(金)	Web 掲載	一般公開
企画フォーラム		環境学習フォーラム 18日(金) 10:00 ~ 11:35 市民フォーラム 18日(金) 13:00 ~ 14:30	オンライン	一般公開
協賛企業・団体等展示		16日(水) ~ 18日(金)	Web 掲載	一般公開

※研究発表会への参加は、一般公開の行事も含めてすべて下記の HP から可能となっています。

<https://jsmcwm.or.jp/taikai2020/>

※今回は Web 開催のため、大会事務局は設置されません。問い合わせは、下記をお願いします。

実行委員会: 石井一英(北大) 090-95225904 または [k-ishii@eng.hokudai.ac.jp](mailto:k-ishii@eng.hokudai.ac.jp)

学会事務局: 廃棄物資源循環学会事務局: Tel. 03-3769-5099 またはメール [jimu@jsmcwm.or.jp](mailto:jimu@jsmcwm.or.jp)

## 行事案内

### 開催セレモニー（一般公開・無料・事前申込不要）

【日時】2020年9月17日(木) 15:00 ~ 15:30

【場所】北海道大学工学部フロンティア応用科学研究棟 2F レクチャーホール(無観客)  
+オンライン配信 (Zoom+You Tube [https://youtu.be/ZBf\\_Ds7Qk1Q](https://youtu.be/ZBf_Ds7Qk1Q))

### 第31回研究発表会開催セレモニー

	司会進行	実行委員長	吉田 英樹 氏
主催者挨拶	会長		吉岡 敏明 氏
来賓挨拶	韓国廃棄物学会会長 KSWM President		Prof. Jai-Young Lee
後援者挨拶	北海道環境生活部長 札幌市環境局長		築地原 康志 氏 佐藤 博 氏
次期開催地挨拶	岡山大学教授		川本 克也 氏
表彰式			

【日 時】2020年9月17日(木) 15:30 ~ 17:00

【場 所】北海道大学工学部フロンティア応用科学研究棟 2F レクチャーホール(無観客)  
+オンライン配信 (Zoom+You Tube [https://youtu.be/ZBf\\_Ds7Qk1Q](https://youtu.be/ZBf_Ds7Qk1Q))

## 「北海道の地域循環経済の魅力語る」

片山 健也 氏 (北海道ニセコ町長)

丸谷 智保 氏 ((株)セコマ代表取締役会長)

聞き手 押谷一 氏(酪農学園大学教授)

### <主旨>

限られた資源を繰り返し利用することで、資源循環と経済成長の両立を目指す循環経済が世界的な関心を集めています。

こうしたなかでニセコ町では情報共有と住民参加の取り組みを制度化し、さまざまな新しい地域経営を実施して魅力あるまちづくりを進めています。株式会社セコマは北海道の良質な素材を使った商品を、北海道でつくることにこだわり、暮らしを豊かにし、北海道の産業を支え、地域の発展と持続可能な社会の実現に向けた経営を実現しています。

片山町長と丸谷会長に地域経営と地域に密着した経営の視点から北海道の循環経済の魅力“対談形式”で語っていただきます。

		
<p>北海道ニセコ町長 片山健也</p>	<p>(株)セコマ代表取締役会長 丸谷智保</p>	<p>聞き手 酪農学園大学教授 押谷 一</p>
<p>&lt;略歴&gt; 1975年4月 民間企業入社(㈱エコープライン(現全農物流㈱)) 1978年10月 同社 退社 1978年11月 ニセコ町役場 入庁。町民総合窓口課長・総務課参事など 2009年7月 ニセコ町役場 退職 2009年10月 ニセコ町長 就任 現在に至る</p> <p>国土交通省地域づくりアドバイザー、経済産業省地域ものづくり戦略会議委員、札幌大学法学部、同大学院で非常勤講師を歴任。内閣府経済社会総合研究所「大学等の知と人材を活用した持続可能な地方の創生に関する研究会」委員、北海道水資源保全審議委員</p>	<p>&lt;略歴&gt; 1979年4月 株式会社北海道拓殖銀行 入行 1998年10月 シティバンク、エヌ・エイ 入行 2007年3月 株式会社セイコーマート(現 株式会社セコマ) 入社 2009年3月 同 代表取締役社長 2020年4月 同 代表取締役会長(現職)</p> <p>平成26年 内閣府経済財政諮問会議 政策コメンテーター就任 NACS International Board of Directors 就任 北海道経済同友会 副代表幹事 北海道経済連合会 常任理事 北海道 EU 協会 会長</p>	<p>&lt;略歴&gt; 立正大学、シリアアラブ共和国環境研究所・所長アドバイザーなどを経て1998年より現職 専門は廃棄物処理・循環型社会における社会経済システム、地域経済、地方自治 博士(地球環境科学) 江別市廃棄物減量等推進審議会・会長 岩見沢市ごみ減量検討委員会・委員長 環境クリーンセンター等(江別市)運営事業評価委委員会・委員長 NPO法人みなと計画・理事 一般社団法人北海道地方自治研究所・理事</p>

コロナ禍における資源循環・廃棄物管理 ～アジア・大洋州からの地域レポート及び共同声明～  
Sound Waste Management in response to the Pandemic of COVID-19  
-Country and regional reports and the joint statement from Asia and the Pacific-  
9月18日(金)10:00～12:00 オンライン

September 18<sup>th</sup> (Fri) 10:00 – 12:00 (Japanese time) Online

新型コロナウイルス感染症は、世界中の人々の暮らしに大きな影響を与えている。資源循環・廃棄物管理分野も例外ではなく、感染性が懸念される廃棄物の取り扱い、廃棄物管理従事者に対する風評被害、新しい生活様式に基づく廃棄物排出実態の変化など、様々な影響が報告されている。中には、国・地域特有のものから、世界共通のものがあるが、早急な対応が求められるものも多く、科学的・政策的な知見の共有や交流が急がれる。そこで、本シンポジウムでは、国際機関における最新の検討状況及びアジア・大洋州の各国や地域からの速報を受けた上で、今後の協力に向けた宣言を行う。



COVID-19 have a major impact on the lives of people around the world. The field of Material Cycles and Waste Management is no exception, and various effects have been already reported, i. e. potentially infectious matter of waste, unfounded rumors on waste handlers, waste generation change due to new normal. Though some of them are common and some are unique to each country/region, there are many that require quick response, and it is urgent to share and exchange scientific and policy knowledge. Therefore, at this symposium, we will make a “declaration” for future cooperation following the latest commitment by international organizations and the preliminary reports from each country and region from Asia and the Pacific.

(敬称略)

座長 /Chair: 京都大学 酒井 伸一 / Kyoto University, JSMCW (Japan), Prof. Shin-ichi Sakai  
使用言語 / Language: 英語 / English

プログラム / Program :

講演 / Lecture

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 流行下における廃棄物管理: 対応から復興へ  
Waste Management during the COVID-19 Pandemic: from response to recovery

IGES-UNEP 環境技術連携センター (CCET) センター長, 小野川 和延

IGES Centre Collaborating with UNEP on Environmental Technologies (CCET) Director,  
Kazunobu Onogawa

UNEP 国際環境技術センター / アソシエートエキスパート, デイリー美里  
UNEP International Environmental Technology Centre / Associate Expert, Misato Dilley

国・地域レポート / Country and regional reports

ネパール / Nepal Dr. Nawa Raj Khatiwada

President and Program Co-ordinator, Nepal Development Research Institute (NDRI)

タイ / Thailand Ms. Sitang Kongkratoke

Lecturer at School of Health Science & Circular Economy for Waste-free Thailand (CEWT)  
Research Center, Mae Fah Luang University

大洋州・パプアニューギニア / Pacific, PNG Prof. Frank K. Griffin

Vice Chancellor, University of Papua New Guinea

Mr. Anthony Talouli, Acting Director, SPREP Waste Management and Pollution Control

中国 / China Prof. Pinjing He

Head, Institute of Waste Treatment & Reclamation, College of Environmental Science and  
Engineering, Tongji University

韓国 / Korea Prof. Daegi Kim, Vice-chair of KSWM international committee

Department of Environmental Engineering, College of Engineering, Daegu University

日本 / Japan Prof. Masaki Takaoka, Kyoto University

声明案 / Draft of Joint Statement Prof. Reiko Sodeno, Shibaura Institute of Technology

討論 / Discussion

声明サインセレモニー及び閉会 / Signing Ceremony and closing

共催 / Co-organizer : 国立環境研究所 / National Institute for Environmental Studies, Japan

※発表内容や順番等は変更になる場合があります。

## 緊急セミナー「災害廃棄物への対応 ～令和2年7月豪雨を受けて～」

9月18日(金) 19:00～20:30 第EX2会場

主催:廃棄物資源循環学会／災害廃棄物研究部会

共催:関西なまずの会

令和2年7月3日からの大雨により、九州を中心に全国各地で被害が生じた。風水害シーズンに入って直後の大きな災害となり、また、ただでさえ、コロナ禍で打撃を受けていた観光地や、様々な課題を抱えていた行政や住民に、大きな痛手となっている。

当学会においても、支援の在り方について、検討を始めていたが、今回は、熊本県庁内に設置された復興対策本部の一角にある環境省デスクを拠点に2名が、その後方(オンライン)支援として1名が、発災直後からの数日間、常駐体制をとり、部会員や関係者とも連携をとりながら、支援を試みた。本セッションでは、その概要と成果を緊急報告する。

また、コロナ禍等の課題を抱えながらの支援や、今後の巨大災害を見据えると、他の防災分野の専門家等からの助言や情報交換、連携が重要である。さらに、今回の初動時でも、災害廃棄物(仮置場の運用等)に関する住民への情報発信が大きな課題であることが改めて認識された。そこで、メディア関係者も交えて意見交換を行いたい。

災害は、いつどこで起こってもおかしくない。災害廃棄物の専門家や部会員のみならず、各地域支部単位での対応も期待される。そこで、今後の支援の在り方や、それに向けた要件について、多くの学会員や関係者にも参加を求め、情報・意見交換する場としたい。

### プログラム(予定)

19:00～19:05 趣旨説明

19:05～19:25 令和2年7月豪雨支援報告

鈴木慎也(福岡大学)、多島良(国立環境研究所)、浅利美鈴(京都大学)

19:25～19:35 現地の最新情報の共有及び質疑

19:35～19:50 被災自治体間における災害時の支援状況

宇田川真之(防災科学技術研究所)

19:50～20:05 災害廃棄物…報道の”処理能力”を考える

関西なまずの会

大牟田智佐子((株)毎日放送報道局、兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科)

木戸崇之(朝日放送テレビ(株)報道局、人と防災未来センター リサーチフェロー)

20:05～20:30 今後の支援の在り方についてのフリーディスカッション

総合司会:森朋子(国立環境研究所)

## 研究発表(口頭発表・ポスター発表・International Hybrid Session)

発表予定件数: 255編 (口頭発表: 135編、ポスター発表: 38編、誌上发表: 48編、International Hybrid Session: 37編)

- ・講演原稿は、研究発表会専用ページからダウンロードする電子版(PDF)のみとなります。
- ・International Hybrid Sessionは口頭発表(発表5分+質疑3分)終了後に、ポスターセッションにてポスター発表を行います。
- ・例年行われていました「優秀ポスター賞」、「国際ポスター賞」、「優秀講演賞」はWeb開催のため、今年度は行いません。ご了承ください。

### 【一般セッション 発表プログラム】

ポスター発表のオンライン質疑 (On-line discussion on poster presentation)

ポスター1: 9月16日(水)16:30 ~ 17:50、ポスター2: 9月17日(木)13:15 ~ 14:35

#### A1 ごみ発生・排出抑制 【16(水) 10:00~11:30 第1会場】 座長: 京都府立大学 山川肇

	A1-1-O	大規模な祭でのペットボトル「天神祭ごみゼロ大作戦」3年目の調査-	p.1
		大阪産業大学 ○花嶋温子	
	A1-2-O	大学生のマイボトルやペットボトル利用に関する意識・行動調査	p.3
		京都大学 ○黄蔚軒, 浅利美鈴	
	A1-3-O	長井市における家庭から排出される食品ロスの実態把握調査	p.5
		大正大学 ○岡山朋子, 京都府立大学 山川肇, 帝京大学 渡辺浩平, 杉山・栗原環境事務所 栗原和夫	
	A1-4-O	SDG12.3への取組に対応した家庭系食品廃棄物組成調査の結果比較	p.7
		帝京大学 ○渡辺浩平, 大正大学 岡山朋子, 京都府立大学 山川肇	
	A1-5-O	家庭系プラスチック廃棄物の素材と分別状況に関する調査研究	p.9
		京都大学 ○矢野順也, 富田悠貴, 西村健太郎, 浅利美鈴, 京都市 勝見潤子, 新島智之 京都大学 酒井伸一	
	A1-6-O	家庭ごみ中の使い捨てプラスチック製品の排出実態と素材に関する研究	p.11
		京都大学 ○富田悠貴, 矢野順也, 西村健太郎, 浅利美鈴, 京都市 勝見潤子, 新島智之 京都大学 酒井伸一	
ポスター1	A1-7-P	効果検証に向けた生活系ごみ減量化普及啓発施策の類型化	p.13
		高崎経済大学 ○齊藤由倫, 亀井優也, 飯島明宏, 群馬県衛生環境研究所 田子博	
ポスター2	A1-8-P	環境・状況的要因による河川でのポイ捨て抑制に向けた取り組みの効果測定	p.15
		宮城学院女子大学 ○森康浩, 東北文教大学 中俣友子	
誌上	A1-9-W	ネットリサーチによる子供用及び大人用紙おむつの使用実態把握	p.17
		国立環境研究所 ○河井紘輔, 京都大学 大下和徹, 石川県立大学 楠部孝誠	
誌上	A1-10-W	大学におけるプラスチックごみ削減に向けた社会実験	p.19
		大正大学 ○岡山朋子	

#### A2: 物質フロー分析 【16(水) 13:00~14:30 第1会場】 座長: 京都大学 平井康宏

	A2-1-O	約半世紀の一般廃棄物処理事業実態調査データのアーカイブ化	p.21
		国立環境研究所 ○田崎智宏, 河井紘輔, 日本環境衛生センター 立尾浩一	
	A2-2-O	山梨県における窒素フローモデルを用いた食糧生産システムの分析	p.23
		山梨大学 ○松山夏規, 遠山忠, 武藤慎一, 西田継	
	A2-3-O	原子力発電の採掘活動から見た資源効率	p.25
		立命館大学 ○中川奈那美, 光斎翔貴, 山末英嗣	
	A2-4-O	日欧中におけるポリ塩化ビニルの二次資源の類型: 二次埋蔵量、潜在廃棄物量	p.27
		立命館大学 ○三俣陽太郎, ボローニャ大学 Ciacci Luca, 同済大学 Tao Wang, 立命館大学 橋本征二	
	A2-5-O	木材用接着剤の物質フローモデル推定	p.29
		京都大学 ○竹内直輝, 土谷悠真, 平井康宏, 矢野順也, 酒井伸一	
	A2-6-O	ベトナムにおける電動バイクを含む使用済み自動二輪車のポテンシャル量推計	p.31
		立命館大学 ○村上原野, 光斎翔貴, 黒木大暉, 山末英嗣	
ポスター1	A2-7-P	岡山県における事業系食品ロスの発生・受入ポテンシャル及び利活用シナリオの評価	p.33
		岡山大学 松井康弘, ○桐生侑恵	
ポスター2	A2-8-P	我が国における電気電子機器由来プラスチックおよび含有難燃剤のフロー推計と 中国の廃プラスチック輸入規制による影響	p.35
		国立環境研究所 ○小口正弘, 寺園淳, 梶原夏子, 東京大学 村上進亮	
ポスター1	A2-9-P	東京都内における食品ロス発生・処理フローの推計	p.37
		エックス都市研究所 ○秦三和子, 長谷山朗, 西村富男	
誌上	A2-10-W	北海道における圏域別マテリアルフローの推計	p.39



			北海道立総合研究機構 ○福田陽一朗, 小野理	
誌上	A2-11-W	PRTR届出移動量データと廃棄物行政報告データの突合について		p.41
			日本環境衛生センター ○立尾浩一, 国立環境研究所 山田正人, 小口正弘	

**A3: セッションはありません。**

**A4: 産業廃棄物 【17(木) 09:00~10:30 第1会場】 座長：国立環境研究所 小口正弘**

A4-1-O	排出事業者の産業廃棄物情報の伝達と安全管理に関する取組事例	p.43
	日本産業廃棄物処理振興センター ○佐々木基了, 藤原博良, 佐々木いづみ	
A4-2-O	緊急事態宣言下の廃棄物処理委託状況の可視化にかかる検討	p.45
	日本産業廃棄物処理振興センター ○鶴島亨, 伊東匠, 藤原博良, 佐々木基了	
A4-3-O	化学物質排出移動量届出と産業廃棄物管理票交付等状況報告の情報活用の検討	p.47
	富山県立大学 ○佐伯孝, 国立環境研究所 小口正弘, 谷川昇, 大久保伸	
A4-4-O	行政データを用いた産業廃棄物物流の形成要因の分析	p.49
	国立環境研究所 ○山田正人, 日本環境衛生センター 立尾浩一, 早稲田大学 近藤康之	
A4-5-O	廃プラスチック類の都道府県別排出量の変遷と他の産業廃棄物排出量との関係	p.51
	国立環境研究所 ○稲葉陸太	

**A5: 住民意識・環境教育 【17(木) 10:45~12:15 第1会場】 座長：株式会社タクマ 松田由美**

A5-1-O	自治体から住民へのごみに関する情報の広報手段の検討 ～自治体からの広報誌と小学校のごみに関する授業に着目して～	p.53
	福島大学 ○沼田大輔	
A5-2-O	ごみ組成調査を用いた「冷蔵庫整理で食品ロス削減キャンペーン」の効果分析	p.55
	京都府立大学 ○山川肇, 黒川昂規, 京都府精華町 竹島康人, 藤原秀樹, 土井寛 エックス都市研究所 小泉春洋, 齋藤友宣, 大正大学 岡山朋子, 帝京大学 渡辺浩平	
A5-3-O	ごみ処理施設の環境学習施設・設備の業務改善に関する一考察	p.57
	国崎クリーンセンター啓発施設 ○鈴木榮一, 京都大学 浅利美鈴	
A5-4-O	水俣市ゼロ・ウェイスト円卓会議の12年と「協働」	p.59
	熊本学園大学 ○藤本延啓	
A5-5-O	中国北京市における生活ごみの分別に対する市民意識の調査	p.61
	東洋大学 ○周可, 荒巻俊也, 北脇秀敏	
A5-6-O	片づけを仕事とする人々のライフストーリー分析	p.63
	国立環境研究所 ○吉田綾	
ポスター2	A5-7-P 家庭における調理時の食品ロス「過剰除去」の実態と発生要因	p.65
	東京農業大学 ○野々村真希	
誌上	A5-8-W 水銀に対する嫌悪感に関する研究(その2): 2つの定量化手法での比較	p.67
	東京工業大学 ○高橋史武	
誌上	A5-9-W 小学校におけるごみに関する授業が保護者に与える影響	p.69
	福島大学 ○沼田大輔, 篠原由梨香, 鈴木早苗	
誌上	A5-10-W 産業廃棄物監視・指導支援システムの改修等による監視・指導体制強化に関する報告	p.71
	三重県 ○西田達, 森田浩司, 北岡達也	
誌上	A5-11-W 事業系食品ロスに関する事業者意識調査について	p.73
	東京都環境科学研究所 ○小泉裕靖	

**B1: 廃棄物管理・計画(1) 【16(水) 10:00~11:30 第2会場】 座長：国立環境研究所 田崎智宏**

B1-1-O	サブサハラ・アフリカの社会人口統計学的特性と都市廃棄物管理の状況	p.75
	国際環境協力ネットワーク ○吉田充夫	
B1-2-O	海洋プラスチック問題から考える廃棄物分野の国際協力	p.77
	東アジア・アセアン経済研究センター ○小島道一	
B1-3-O	鹿児島県志布志市における分別収集システム構築の経験と開発途上国への応用	p.79
	ラーバンデザインズ ○小川領一, 志布志市役所 留中政文, 西川順一, エックス都市研究所 佐藤尚文	
B1-4-O	資源循環に関するプラットフォームの社会実装に向けて	p.81
	エックス都市研究所 ○土井麻記子, 中石一弘	
B1-5-O	政策的デポジット制度とRVM系店頭回収～歴史的制度論の視座からみた日中の事例	p.83
	宇都宮大学 ○高橋若菜, 福島大学 沼田大輔, 国立環境研究所 吉田綾, 東京電機大学 伊藤俊介 ルンド大学 東條なお子, 宇都宮大学 張喬	
B1-6-O	高齢社会に対応したごみ収集体制—現在の自治体の取組と今後の課題—	p.85
	国立環境研究所 ○鈴木薫, 多島良, 田崎智宏	
ポスター1	B1-7-P 中国杭州市における生活ごみ処理についての研究	p.87
	中央大学 ○陳宇馳	
誌上	B1-8-W 人口減少・高齢化社会における廃棄物処理事業の官民連携に関する課題と解決策の例示	p.89
	エックス都市研究所 ○秦三和子, 村上友章, 吉川克彦, 国立環境研究所 河井絃輔, 大迫政浩 エックス都市研究所 西村富男	

<b>B2: 廃棄物管理・計画(2)</b>		<b>【16(水) 13:00~14:30 第2会場】</b>	<b>座長：国立環境研究所 稲葉陸太</b>
	B2-1-O	下水汚泥エネルギー活用システムを対象とした熱収支解析モデルの開発 お茶の水女子大学 ○王柯樺, 中久保豊彦	p.91
	B2-2-O	地域環境施設における汚泥処理機能統合ならびに焼却機能統合の設計とその評価 お茶の水女子大学 ○中久保豊彦, 盧梓馨, 王柯樺	p.93
	B2-3-O	ロボット技術を活用した資源化施設における手選別作業支援システムの開発 川崎重工業 ○中野裕, 川本直哉, 梅本司, 桂木格	p.95
	B2-4-O	産業廃棄物処理における情報連携のニーズ把握 北九州市立大学 ○藤山淳史, 有本朝香, 松本亨	p.97
	B2-5-O	古紙回収量変化の要因分析 - 宮城県における資源回収ステーションを事例に - 東北大学 ○劉曉玥, 劉庭秀, 大窪和明, 佐藤正弘, 青木俊明	p.99
誌上	B2-6-W	産業廃棄物等による地域共生型エネルギー化モデルと実現に向けた課題 産業廃棄物処理事業振興財団 ○山脇敦, 西田直史	p.101
誌上	B2-7-W	防災機能を持つ市街地清掃工場の立地に関する研究 その5 - 清掃工場の心理的影響範囲 - 日本大学 ○橋本治, 根上彰生, 金島正治, 日本不動産学会 三橋博巳	p.103
<b>B3: 災害廃棄物の管理・計画(1)</b>		<b>【16(水) 14:45~16:15 第2会場】</b>	<b>座長：国立環境研究所未定 高田光康</b>
	B3-1-O	災害初動期における浸水推定図を用いた災害廃棄物量の推定手法 名古屋大学 ○平山修久, 中村晋一郎, 福和伸夫, 野村一保	p.105
	B3-2-O	南海トラフ巨大地震における災害廃棄物量の推計-既存研究との比較- 立命館大学 ○野末浩佑, 矢澤大志, 岐阜大学 奥岡佳次郎, 名古屋大学 谷川寛樹, 立命館大学 橋本征二	p.107
	B3-3-O	災害廃棄物の種類と処理方法, 処理費用等の関係 復建調査設計 ○三上貴士, 井上陽仁, 広島資源循環協会 山下俊之	p.109
	B3-4-O	仮置場における片付けごみの分別に影響する要因の検討:平成30年7月豪雨の事例より 国立環境研究所 ○多島良, 森嶋順子	p.111
	B3-5-O	片付けごみの排出行動の分析:倉敷市真備町の洪水災害を対象として 岡山大学 ○藤原健史, 岡山県 森脇直輝, 香川県 浪越宥弥	p.113
ポスター2	B3-6-P	手選別作業の効率に関与する因子に関する研究(5) 国立環境研究所 山田正人, 北海道大学 落合知, 建設技術研究所 古田秀雄, ○五十嵐知宏	p.115
ポスター1	B3-7-P	片付けごみ排出モデルの作成と収集戦略:倉敷市真備町の洪水災害を対象として 岡山大学 ○藤原健史, 香川県 浪越宥弥, 岡山県 森脇直輝	p.117
誌上	B3-8-W	水害(平成29年豪雨災害)の片付けごみ発生原単位、仮置場占有面積及び配置計画の検討 国立環境研究所 ○宗清生, 多島良, 大迫政浩, 日本環境衛生センター 宮原哲也, 伊勢戸宏幸	p.119
<b>B4: 災害廃棄物の管理・計画(2)</b>		<b>【17(木) 09:00~10:30 第2会場】</b>	<b>座長：龍谷大学 奥田哲士</b>
	B4-1-O	平成30年7月豪雨の災害廃棄物処理に係る現地視察・研修会の方法と評価 日本環境衛生センター ○笹木宏行, 国立環境研究所 宗清生, 多島良	p.121
	B4-2-O	業務フロー図による災害廃棄物処理能力の評価手法の検討 京都大学 ○益田明奈, 浅利美鈴, 国立環境研究所 多島良, 森朋子, 福岡大学 鈴木慎也	p.123
	B4-3-O	災害廃棄物処理の観点から整理した平時の廃棄物関連業務の実態 福岡大学 ○鈴木慎也, 国立環境研究所 多島良, 森朋子, 京都大学 浅利美鈴, 福岡大学 立藤綾子	p.125
	B4-4-O	災害廃棄物収集運搬モデルを用いた災害廃棄物処理効率向上策に関する検討 名古屋大学 ○宮内隼, 平山修久	p.127
ポスター2	B4-5-P	震災時の化学汚染廃棄物の発生予測に向けた対象化学物質の選定方法に関する検討 大阪市立大学 ○水谷聡, 杉浦隆介, 大阪府立環境農林水産総合研究所 田和佑脩, 中村智, 矢吹芳教, 野呂和嗣 大阪市立大学 貫上佳則	p.129
<b>B5: ごみ文化・歴史</b>		<b>【17(木) 10:45~12:15 第2会場】</b>	<b>座長：琉球大学 星野高德</b>
	B5-1-O	「違式註違条例図解」にみる明治初期の塵芥処理事情 京都府立大学 ○山崎達雄	p.131
	B5-2-O	東京都のし尿等海洋投棄廃止の経緯について 八千代エンジニアリング ○石井明男, 長岡耕平, 永平晃造	p.133
	B5-3-O	清掃業務専門職の考察-八王子市の生活環境職の設置を通じて- ○中川和郎	p.135
	B5-4-O	戦前期東京市・大阪市・名古屋市における屎尿処理政策の比較 琉球大学 ○星野高德	p.137
	B5-5-O	区単位での廃棄物管理の導入から定着までのプロセスに関する事例研究 -バングラデシュ国ダッカ市とスーダン国ハルツーム州の比較を通じて- 八千代エンジニアリング ○小谷倫加恵, 佐野洋介, 石井明男	p.139
	B5-6-O	汚物掃除法・清掃法下における事業系廃棄物(第二報) 稲村技術士事務所 ○稲村光郎	p.141

<b>C1: 容器包装およびプラスチック</b>		<b>【16(水) 10:00~11:30 第3会場】</b>	<b>座長：東京大学 中谷 隼</b>
C1-1-O	セメント製造における廃プラスチックの利用によるCO2排出量の削減 太平洋セメント ○杉澤建, 吉川知久, 石田泰之, 国立環境研究所 河井紘輔, 稲葉陸太, 大迫政浩		p.143
C1-2-O	難燃リサイクルPSの回収方法の開発 三菱電機 ○亀井大輔, 松尾雄一		p.145
C1-3-O	原料利用に着目したプラスチックリサイクルの新たな評価指標の提案 東京大学 ○方大樹, 中谷隼, 栗栖聖, 森口祐一		p.147
C1-4-O	ポリエチレンからの酸化防止剤および紫外線吸収剤の除去 東北大学 ○丹治聖史, 熊谷将吾, 大阪市立大学 田村正純, 東北大学 亀田知人, 齋藤優子, 吉岡敏明		p.149
C1-5-O	原油蒸留残渣油の熱分解におけるプラスチック添加の効果 東北大学 ○久須美諒, 博吉汗斯琴高娃, 熊谷将吾, 亀田知人, 齋藤優子, 吉岡敏明		p.151
C1-6-O	プラスチック資源循環戦略: 容器包装・製品のリサイクルに関する考察 プラスチック容器包装リサイクル推進協議会 ○久保直紀, エコエナジー 芳賀裕之		p.153
<b>C2: 廃電気電子製品・自動車・電池</b>		<b>【16(水) 13:00~14:30 第3会場】</b>	<b>座長：日本工業大学 兩宮 隆</b>
C2-1-O	廃家電由来の臭素系難燃剤を事例とした臭素市中賦存量推計 東北大学 ○齋藤優子, 中村希, 熊谷将吾, 亀田知人, 白鳥寿一, 吉岡敏明		p.155
C2-2-O	ASRに含まれる臭素含有物質の選別除去手法の検討 日産自動車 ○阿部有希, 佐藤康典, 美藤洋平, 端野直輝, 二上隆		p.157
C2-3-O	ライフサイクルシミュレーションによる車載用LiBの採掘活動から見た資源効率最適化 立命館大学 ○鷹田祐京, 京都大学 光斎翔貴, 立命館大学 山末英嗣		p.159
C2-4-O	中古二輪車を対象としたベトナムの再資源化ネットワークに関する研究 東京都市大学 ○木村眞実, 山根拓海		p.161
C2-5-O	廃車由来の廃ガラスを用いた活用事例の研究調査 拓南本社 ○名波和幸, 東京都市大学 木村眞実, 拓南商事 中村慎之介		p.163
ポスター1	C2-6-P リチウムイオン二次電池の持続的リサイクルに向けたフッ素固定化 函館工業高等専門学校 ○田中太, グンガージャワルハグワスレン, 寺門修, 産業技術総合研究所 粕谷亮		p.165
誌上	C2-7-W 使用済み自動車由来ガラス再資源化工程の現場改善に関する研究 東京都市大学 ○木村眞実, 拓南本社 名波和幸, 拓南商事 中村慎之介		p.167
<b>C3: 無機性廃棄物・建設廃棄物</b>		<b>【16(水) 14:45~16:15 第3会場】</b>	<b>座長：産業総合研究所 加茂 徹</b>
C3-1-O	もみ殻燃焼灰のアルカリ処理液の色の違いの性状解析 富山県立大学 関藤良子, ○立田真文, 石川県立大学 瀧本裕士		p.169
C3-2-O	熱処理した窯業系サイディングの水蒸気吸着特性に関する検討 群馬県立群馬産業技術センター ○恩田紘樹, 牛木龍二, 黒崎紘史, 塚本さゆり ベスト資材 杉山乃祐, 佐藤和則		p.171
C3-3-O	竹炭を使用したモルタル硬化体の圧縮強度及び電気特性に関する研究 三重県工業研究所 ○市川幸治, 前川明弘		p.173
C3-4-O	廃石膏ボードおよび廃ガラスを用いた固化体強度に関する研究 宮崎大学 ○石津直輝, 関戸知雄, 土手裕, 李春鶴, 塩川産業 遠藤紘徳		p.175
C3-5-O	FIT認定施設における木質バイオマス燃焼灰の推計 京都大学 ○池美乃里, 大下和徹, 日本木質バイオマスエネルギー協会 川越裕之, 京都大学 高岡昌輝		p.177
ポスター2	C3-6-P ヒ素含有廃石膏ボードのハンドヘルドXRFを用いた判定について 国立環境研究所 ○遠藤和人, 新井裕之, 応用地質 宮田彰, 中村謙治		p.179
ポスター1	C3-7-P ベトナムハノイ市建設廃棄物処分場における埋設廃棄物組成調査 埼玉大学 ○加藤晃, 松野晃大, 埼玉県環境科学国際センター 川寄幹生, 磯部友護, 埼玉大学 川本健		p.181
誌上	C3-8-W 推定式より求めた廃石膏ボード由来再生半水石膏を添加した土の含水比低減効果 防衛大学校 ○佐野博昭, 福井工業高等専門学校 山田幹雄, JAFEC USA 小竹望 大分工業高等専門学校 前稔文, 尾形公一郎, 大島商船高等専門学校 川原秀夫		p.183
誌上	C3-9-W バイオマス資源生産高効率化のための建設汚泥由来の腐植利用 東京工業高等専門学校 鈴木大輔, ○庄司良		p.185
<b>C4: 有価物の分離回収</b>		<b>【17(木) 09:00~10:30 第3会場】</b>	<b>座長：東北大学 熊谷将吾</b>
C4-1-O	加熱アルカリ脆化による被覆銅線からの樹脂剥離 三菱マテリアル ○高橋憲史, 林浩志, 東北大学 熊谷将吾, 吉岡敏明		p.187
C4-2-O	マイクロ波炉を用いた使用済みアルカリマンガン電池のリサイクル 立命館大学 ○黒木大暉, 光斎翔貴, 山末英嗣		p.189
C4-3-O	バイポーラ膜電気透析装置法による副生塩のリサイクルに関する研究(その2) 福岡大学 ○劉佳星, 為, 田一雄, 重松幹二, 樋口壯太郎		p.191
ポスター2	C4-4-P 回分式反応装置を用いた養豚廃水からのN,P,K同時回収 宮崎大学 ○土手裕, 関戸知雄		p.193
ポスター1	C4-5-P 過酸化水素添加熱水を用いた Carbon Fiber Reinforced Plastics(CFRP)に含まれる 熱硬化性樹脂の分解におよぼす反応条件の影響 中央大学 ○横塚公輔, 池谷孝, 坂部淳一, 船造俊孝		p.195

ポスター2	C4-6-P	廃棄物熱処理における金の挙動の熱力学平衡計算を用いた推算 国立環境研究所 ○由井和子, 倉持秀敏, 大迫政浩	p.197
誌上	C4-7-W	脱水汚泥のアルカリ添加・焼却によるリン回収法 四日市大学 ○高橋正昭, 武本行正, 岩崎 誠二, 三重中央開発 亀本和成 活水プラント 飯田克己, 飯田祐史	p.199

**C5: 有機性廃棄物** 【17(木) 10:45~12:15 第3会場】 座長: 岐阜大学 小林信介

	C5-1-O	養殖池汚泥からのアンモニア回収を目的とした高温好気発酵における菌叢解析 東京工業大学 ○小山光彦, マレーシア・プトラ大学 シュクリファディル, 創価大学 戸田龍樹 東京工業大学 トランクイン ザイスル カマルシャズニ, 中崎清彦	p.201
	C5-2-O	キャンパス土壌を用いたポリ[(R)-3-ヒドロキシ酪酸]分解菌の搜索と単離 室蘭工業大学 ○渡辺篤志, 小山泰平, 釘本典幸, 張裕喆	p.203
	C5-3-O	多様な脂肪酸の組み合わせによる細菌増殖能の評価及びPHA生産 室蘭工業大学 ○月居天聖, 渡辺篤志, 張裕喆	p.205
	C5-4-O	家畜ふん堆肥に含まれる抗生物質耐性菌の影響 酪農学園大学 ○押谷一, 日本ファーター 田中雅人	p.207
	C5-5-O	ライフサイクル視点によるもみ殻の回収と再資源化に関する環境影響評価 東北大学 ○劉嘉睿, 張政陽, 松八重一代	p.209
	C5-6-O	ホタテガイ養殖残渣のもみ殻焼却熱による無臭化処理とケイカル肥料化の同時実現 弘前大学 ○吉田暁弘, 官国清, 阿布里提	p.211
ポスター1	C5-7-P	太陽熱の簡易集熱システムを利用した汚泥の乾燥促進 北九州市立大学 ○山田百合子, 岡三リビック 秀島葵, 北九州市立大学 伊藤洋	p.213
ポスター2	C5-8-P	土着微細藻類培養のための精密ろ過膜を用いた牛ふんメタン発酵消化液の色成分と 栄養塩の分離に関する研究 北海道大学 ○中島拓海, 佐藤昌宏, 石井一英, 落合知	p.215
ポスター1	C5-9-P	メタン発酵消化液中に含まれる窒素成分の低減化に関する研究 三重県工業研究所 ○矢田喜大, 松浦真也, 前川明弘, 三重県保健環境研究所 立野 雄也 大阪府立大学 徳本勇人, 大栄工業 川岡孝督, 神寄康之	p.217
誌上	C5-10-W	好気微生物処理の水分の下限に関する検討 山梨大学 ○金子栄廣, 西岡良樹, 八重樫咲子	p.219
誌上	C5-11-W	発泡ガラス材による気体中アンモニア成分の除去メカニズムに関する研究 北海道大学 ○落合知, 高木玄, 佐藤昌宏, 石井一英	p.221
誌上	C5-12-W	牛ふんメタン発酵消化液と発電排ガスをを用いた土着微細藻類培養 —CO <sub>2</sub> 気液平衡によるpH制御及び炭酸供給の可能性— 北海道大学 ○佐藤昌宏, 丑丸進太郎, 北海道大学 石井一英, 落合知	p.223

**C6: メタン発酵・燃料化** 【18(金) 10:00~11:30 第3会場】 座長: 豊橋技術科学大学 大門裕之

	C6-1-O	スギとポリエチレンのシナジー効果増強によるガス化促進および炭化抑制 東北大学 ○笠高宏洋, 熊谷将吾, 亀田知人, 齋藤優子, 吉岡敏明	p.225
	C6-2-O	下水汚泥チャーの燃焼挙動に及ぼす温度と酸素分圧の影響 名古屋大学 ○小林知嗣, 植木保昭, 義家亮, 成瀬一郎, メタウォーター 河合卓也	p.227
	C6-3-O	ごみ炭化燃料化施設の炭化燃料利用先拡大に向けたバーナの開発 第2報 川崎重工業 清水正也, ○福永史樹, 森永友一郎, 日工 北野裕樹, 川崎重工業 谷口暢子	p.229
	C6-4-O	水熱処理を利用した汚泥スラリー化技術に関する検討 岐阜大学 ○房正雄, 小林信介, 板谷義紀, 須網暁, 中川二彦	p.231
	C6-5-O	ビール粕および副産物を対象とした高温メタン発酵特性の把握 鹿島建設 ○速水公佑, 小川浩司, 三浦一彦, 多田羅昌浩, 中小路董	p.233
	C6-6-O	食品廃棄物のメタン発酵処理施設の運転報告 Jバイオフードリサイクル ○海老澤拓哉, 稲葉涼, 蔭山佳秀, 宇田川悟	p.235
ポスター2	C6-7-P	MBT残渣のバイオチャー化に関する基礎検討 龍谷大学 ○水原詞治, 辻本あさひ, 国立環境研究所 石垣智基	p.237
誌上	C6-8-W	牛ふんバイオガスプラントの余剰熱利用の熱収支に関する研究 北海道大学 ○吉松凜, 石井一英, 佐藤昌宏, 落合知	p.239
誌上	C6-9-W	乳牛ふん乾燥物の燃料特性 静岡県畜産技術研究所 ○佐藤克昭, 静岡県工業技術研究所 岡本哲志	p.241

**D1: 焼却(1)** 【16(水) 10:00~11:30 第4会場】 座長: 京都大学 高岡昌輝

	D1-1-O	ごみ水分カメラによるピット内ごみ攪拌状態の評価 川崎重工業 ○上田亮, 岩崎卓也, 國政瑛大, 王子修, 竹田航哉, 戸田郁人	p.243
	D1-2-O	画像認識を活用した燃焼安定化技術によるごみ焼却プラントの運転省力化の取組み 三菱重工業 ○大丸卓一郎, 太田裕二, 岩下信治, 西宮立享, 今田潤司, 瀬戸口稔彦 三菱重工環境・化学エンジニアリング 江草知通, 林慶一, 澤田伸一, 滑澤幸司	p.245
	D1-3-O	画像AI技術を用いたごみ種センシング機能の開発 神戸製鋼所 ○尾崎圭太, 上村祥平, 江口徹, 森田啓, 福川由季 神鋼環境ソリューション 眞野文宏, 渡邊圭, 伊藤正	p.247

D1-4-O	AIを活用したごみ焼却施設の運転支援システムの評価について 川崎重工業 ○國政環大, 日隈克敏, SOINN 梅津雄一, 井加田洗輔, 川崎重工業 竹田航哉, 尾藤俊文	p.249
D1-5-O	ごみ焼却施設の最適運営にむけたAI運転支援システム導入への取組み 三菱重工環境・化学エンジニアリング ○鈴木航, 江草知通, 寺沢良則, 増山政次, 澤本嘉正	p.251
<b>D2: 焼却(2) 【16(水) 13:00~14:30 第4会場】 座長: パシフィックコンサルタンツ株式会社 枝澤圭祐</b>		
D2-1-O	ごみピット3D計測技術の開発 神戸製鋼所 ○上村祥平, 尾崎圭太, 江口徹, 森田啓, 福川宙季 神鋼環境ソリューション 眞野文宏, 渡邊圭, 伊藤正	p.253
D2-2-O	遠隔監視・運転支援拠点を活用した廃棄物焼却施設の運転安定化への取組み タクマ ○藤本祐希, 井藤宗親	p.255
D2-3-O	ストーカ炉における低NOx燃焼運転の事例紹介 日立造船 ○重政祥子, 草野康弘, 基吉夫, 小田切宏, 平野瑞樹, 古林通孝	p.257
D2-4-O	溶融塩腐食に及ぼす重金属塩の影響に関する基礎研究 JFEエンジニアリング ○北川尚男, 川崎翔太, 戸田朝子, 群馬工業高等専門学校 山内啓	p.259
D2-5-O	旋回式溶融炉における炉内監視技術の開発 三菱重工環境・化学エンジニアリング ○原田朋弘, 滑澤幸司, 大貫博	p.261
ポスター1	D2-6-P ごみ焼却施設の実態に関する近年の状況調査 岡山大学 ○川本克也	p.263
誌上	D2-7-W 産業廃棄物および医療機関から排出される感染性廃棄物の発熱量の検討 神戸環境クリエート ○早川健一	p.265
<b>D3: 排ガス処理・監視 【16(水) 14:45~16:15 第4会場】 座長: 株式会社タクマ 増田孝弘</b>		
D3-1-O	デカブロモジフェニルエーテルの焼却試験による分解率および分解副生成物の評価 京都大学 ○高見侑佑, 藤森崇, 静岡県立大学 三宅祐一, 王斉, 京都大学 高岡昌輝	p.267
D3-2-O	活性炭素繊維(ACF)を用いた水銀除去試験 プランテック ○松浦雄之介, 北川勝, 京都大学 高岡昌輝, 日下部武敏, 大阪ガス 吉川正晃	p.269
D3-3-O	重曹の真空加熱による酸性ガス処理用の高性能多孔質薬剤の製造 北海道大学 ○黄仁姫, 松尾孝之, 東條安匡, 松藤敏彦, プランテック 増田俊吾	p.271
D3-4-O	MnO <sub>2</sub> /Mg-Al系層状複水酸化物による酸性ガス処理 東北大学 ○高橋由莉子, 亀田知人, 熊谷将吾, 斎藤優子, 栗田工業 山田亮一, 藤田聡, 伊藤一郎, 韓田野 東北大学 吉岡敏明	p.273
D3-5-O	水蒸気透過膜を用いた新規な環境配慮型廃棄物処理システムの開発 プランテック ○武山彰宏, 山床太一, 広島大学 都留稔了, 長澤寛規	p.275
ポスター2	D3-6-P 高濃度HCl雰囲気中の溶融排ガスにおけるHgの活性炭吸着除去に関する基礎研究 クボタ ○釜田陽介, クボタ環境サービス 永山貴志, クボタ 上林史朗, 中外テクノス 前畑有吾, 佐野良和	p.277
誌上	D3-7-W 焼却施設の稼働実態調査(排ガス編) 福岡大学 ○樋口壯太郎, 廃棄物・3R研究財団 東海林俊吉, 福岡大学 為, 田一雄	p.279
誌上	D3-8-W 都市ごみ排ガスに含まれるガス状水銀の活性炭処理に関する研究(2) 東京都環境科学研究所 ○寺嶋有史, 辰市祐久, 小泉裕靖	p.281
誌上	D3-9-W バイオマスガス化プロセスとタール抑制に関する研究 岡山大学 ○蔣競, 川本克也	p.283
<b>D4: 発電・熱利用 【17(木) 09:00~10:30 第4会場】 座長: 一般財団法人日本環境衛生センター 藤原周史</b>		
D4-1-O	ボイラ水管肉厚測定ロボットの開発 荏原環境プラント ○永田秀樹, 曾根与幸, 戸上尚紀, 北野智士, 伊能崇雄	p.285
D4-2-O	圧力波式スートブロー使用による高温ボイラ過熱器管の腐食特性 川崎重工業 ○田中宏史, 竹田航哉, 高田康寛, 下村育生	p.287
D4-3-O	ストーカ式ごみ発電施設向け高温高压ボイラの性能 荏原環境プラント ○岡本有弘, 長洋光	p.289
D4-4-O	鳥取県へのごみ焼却・バイオガス化複合施設の導入ポテンシャル分析 公立鳥取環境大学 ○金相烈, ミダック 黄子超	p.291
D4-5-O	廃棄物焚き高温・高压ボイラ(6MPa x 450°C)の実用化 荏原環境プラント ○田中瑛智, 神山直樹, 長洋光, 荏原製作所 野口学	p.293
誌上	D4-6-W 清掃工場における発電機の絶縁診断に関する研究 東京二十三区清掃一部事務組合 ○木本徹, 佐藤弘隆	p.295
誌上	D4-7-W 都市ごみ焼却処理施設における発電機定格出力の評価 ○篠靖夫	p.297
誌上	D4-8-W 都市ごみ焼却主灰の脱塩について(第2報) 東京都環境科学研究所 ○辰市祐久, 国立環境研究所 飯野成憲 東京都環境科学研究所 寺嶋有史, 小泉裕靖	p.299

<b>D5: 焼却主灰・飛灰</b>		<b>【17(木) 10:45~12:15 第4会場】</b>	<b>座長：クボタ環境サービス株式会社 永山貴志</b>
	D5-1-O	排ガス処理薬剤使用量削減技術の開発 荏原環境プラント ○中川智美, 河岸孝昌, 櫻井清之	p.301
	D5-2-O	焼却施設の稼働実態調査(焼却残渣編) 福岡大学 ○為, 田一雄, 廃棄物・3R研究財団 東海林俊吉, 福岡大学 樋口壯太郎	p.303
	D5-3-O	渦電流選別による都市ごみ焼却主灰の金属選別特性 国立環境研究所 ○飯野成憲, 東京都環境公社 辰市祐久, 国立環境研究所 肴倉宏史 フジタ 久保田洋, 繁泉恒河, 高地春菜, 福岡大学 佐藤研一, 藤川拓朗	p.305
	D5-4-O	PVCの熱分解ー塩化揮発二段プロセスによる一般廃棄物焼却飛灰からの重金属除去 東北大学 ○藤田尚輝, 熊谷将吾, 亀田知人, 齋藤優子, 吉岡敏明	p.307
	D5-5-O	ごみ焼却主灰に含まれる鉄系廃棄物に関する細分類調査 京都大学 ○毛嘉鈺, 塩田憲司, 日下部武敏, Zhang Mengmei, 藤森崇, 大下和徹, 高岡昌輝	p.309
ポスター1	D5-6-P	産業廃棄物由来の焼却飛灰における炭酸化処理によるPbの難溶化効果 フジタ ○繁泉恒河, 久保田洋, 高地春菜, 山田裕己	p.311
ポスター2	D5-7-P	都市ごみ焼却主灰のエアテーブル選別における含水率の影響 国立環境研究所 ○飯野成憲, 東京都環境公社 辰市祐久, 国立環境研究所 肴倉宏史	p.313
誌上	D5-8-W	炭酸化と物理選別を組み合わせさせた改質処理が焼却主灰中の重金属含有量に与える影響 国立環境研究所 ○肴倉宏史, 飯野成憲, 中川美加子, Back Seungki, エコネコル 植田健渡 フジタ 久保田洋, 繁泉恒河, 高地春菜, 福岡大学 佐藤研一, 藤川拓朗	p.315
誌上	D5-9-W	脱塩剤別飛灰処理FS検討 エックス都市研究所 ○土井麻記子, 福岡大学 花嶋孝生, 環境技術支援ネットワーク 横山睦正 福岡大学 添田政司, 為, 田一雄, 樋口壯太郎	p.317
<b>E1: 最終処分場の構造・設計</b>		<b>【16(水) 10:00~11:30 第5会場】</b>	<b>座長：福岡大学 平田修</b>
	E1-1-O	熱帯アジア都市における廃棄物による水路の閉塞挙動に関する数値シミュレーション 国立環境研究所 ○中村公亮, Rangsit 大学 Thaweesub Rawit, 国立環境研究所 Sutthasil Nopparit Kasetart 大学 Chiemchaisri Chart, 国立環境研究所 石垣智基	p.319
	E1-2-O	埋立廃棄物の安定化と廃止基準評価項目との関連性 福岡大学 ○平田修, 鈴木慎也, 柳瀬龍二	p.321
	E1-3-O	ベントナイト砕石NB工法の力学特性および遮水特性に関する施工性能の評価 神奈川県 ○遠藤清亮, 田口雅丈, NB研究所 佐古田又規	p.323
	E1-4-O	ベントナイト砕石を用いた土質遮水工の施工事例 鹿島建設 ○小澤一喜, 辻本宏, 古野間達, 篠原智志, 吉澤誠, 小淵孝晃, 沼野友伸, 宇都宮市 高秀賢史 エイト日本技術開発 宮澤俊介	p.325
	E1-5-O	最終処分場の遮水シート工における「重力式」コンクリート固定工の採用事例 鹿島建設 ○小淵孝晃, 吉澤誠, 篠原智志, 辻本宏, 古野間達, 小澤一喜, 宇都宮市 高秀賢史 エイト日本技術開発 宮澤俊介	p.327
<b>E2: 最終処分場の維持管理・モニタリング</b>		<b>【16(水) 13:00~14:30 第5会場】</b>	<b>座長：明星大学 宮脇健太郎</b>
	E2-1-O	最終処分場埋立層における電氣的パラメータに対する含水率および塩濃度の影響 早稲田大学 ○山崎聡司朗, 香村一夫	p.329
	E2-2-O	覆土代替材による浸出水量制御に関する研究 吉浦工務店 ○巖厚亮, 吉浦敏幸, 日高宏樹, 福岡大学 為, 田一雄, 樋口壯太郎	p.331
	E2-3-O	海面埋立処分場のトレーサー試験に向けたHo-CyDTA適用性の室内試験結果 国立環境研究所 ○三浦拓也, 遠藤和人, 廃棄物・3R研究財団 東海林俊吉	p.333
	E2-4-O	比抵抗モニタリングを用いた汚染水浄化層の有効性の確認 早稲田大学 ○宮田匡人, 香村一夫	p.335
ポスター1	E2-5-P	廃棄物最終処分場における長寿命化に対する問題対応の実態把握 北海道大学 ○石井一英, 小山文敬, 北海道立総合研究機構 阿賀裕英, 北海道大学 佐藤昌宏, 落合知	p.337
ポスター2	E2-6-P	簡易機器を用いた廃棄物最終処分場内観測井のガスモニタリング 埼玉県環境科学国際センター ○長森正尚, 福井県衛生環境研究センター 大久保香澄 千葉県環境研究センター 森崎正昭, 福岡県保健環境研究所 古賀智子, 沖縄県衛生環境研究所 井上豪 国立環境研究所 石垣智基, 山田正人	p.339
ポスター1	E2-7-P	一般廃棄物最終処分場の放流水自主基準と浸出水滞水に関するアンケート調査 北海道大学 ○宇都野久, 松藤敏彦	p.341
ポスター2	E2-8-P	アンケートによる一般廃棄物最終処分場の廃止事例調査 日本国土開発 ○坂本篤, 建設技術研究所 和田崇史, 中電技術コンサルタント 渡辺修士 三ツ星ベルト 井場道夫, 大本組 浜田利彦, 西松建設 山崎将義, 飛鳥建設 上杉章雄 大成建設 谷澤房郎, 北海道大学 石井一英, 日本国土開発 海老原正明	p.343
誌上	E2-9-W	最終処分場施工管理ツールの開発 大成建設 ○中島秀也, 大久保英也, 野本裕, 美斉津宏史, 東ソー・ニックミ 古賀研二	p.345
誌上	E2-10-W	遮水工保護マットの透水性変化を考慮した選定方法 大林組 ○三橋実季, 竹崎聡, 木村志照, 柴田健司, 日笠山徹巳, 大阪産業技術研究所 西村正樹	p.347
誌上	E2-11-W	酸化鉄汚泥を用いた硫化水素発生抑制材としての実用化に向けた基礎研究 山口県産業技術センター ○中邑敦博, 猪野陽佳, 前英雄, 戸田工業 山口誠一	p.349

**E3: 浸出水・発生ガス** 【16(水) 14:45~16:15 第5会場】 座長：埼玉県環境科学国際センター 鈴木和将

	E3-1-O	分解菌のバイオオーグメンテーションによる1,4-ジオキサン処理技術の検討 大阪大学 ○好川拓実, 井上大介, 池道彦	p.351
	E3-2-O	重金属不溶化剤の阻害作用による廃石膏の硫化水素抑制に関する研究 福岡大学 ○武下俊宏, 村田真理	p.353
	E3-3-O	廃棄物最終処分場間隙流れシミュレーションとエネルギー損失評価 埼玉県環境科学国際センター ○鈴木和将, 東北大学 Huynh Quang Huy Viet, 宇田智紀, 水藤寛	p.355
	E3-4-O	嫌気性アンモニア酸化による浸出水処理の実機運転報告 水ing ○高橋惇太, 葛甬生, 楠本勝子, 水ingエンジニアリング 西村隆司	p.357
	E3-5-O	逆浸透膜処理による残留キレート除去 福岡大学 ○花嶋孝生, 劉佳星, GEラボアナリシス 内田正信, 福岡大学 添田政司, 為, 田一雄, 樋口壯太郎	p.359
ポスター1	E3-6-P	海面処分場における大気中CO <sub>2</sub> 吸収による内水ポンドのpH低下(その2) 明星大学 ○宮脇健太郎, 藤田悠輔, 国立環境研究所 遠藤和人, 廃棄物・3R研究財団 東海林俊吉	p.361
ポスター2	E3-7-P	ベトナムハノイ市における建設廃棄物埋立地の環境影響調査に向けた標準運用手順 (SOP)作成 埼玉大学 ○松野晃大, 加藤晃, 埼玉県環境科学国際センター 長森正尚, 川寄幹生, 磯部友護 埼玉大学 川本健	p.363
誌上	E3-8-W	豪雨時の浸出水発生量予測のためのガス抜き管を考慮した数値モデルの開発 北海道大学 ○平岡夏生, 石井一英, 佐藤昌宏, 落合知	p.365
誌上	E3-9-W	安定型最終処分場で観測される埋立地ガス中の高濃度窒素ガス成分の由来検討 国立環境研究所 ○石垣智基, 鳥取県衛生環境研究所 成岡朋弘, 島根県県央保健所 松尾豊, 小林結衣 国立環境研究所 北村洋樹, Sutthasil Nopparit, 埼玉県環境科学国際センター 長森正尚 国立環境研究所 山田正人	p.367
誌上	E3-10-W	残留キレートに対する活性炭処理の適応性 GEラボアナリシス ○内田正信, 福岡大学 為, 田一雄, 樋口壯太郎	p.369
誌上	E3-11-W	廃石膏ボードの長期模擬埋立実験による安定化に関する研究 福岡大学 ○為, 田一雄, 吉浦工務店 巖厚亮, 福岡大学 樋口壯太郎	p.371
誌上	E3-12-W	2段式ハイブリット型人工湿地を用いた高塩分浸出水の処理 東北工業大学 ○中山正与, 矢野篤男, 山田一裕, 小浜暁子, 江成敬次郎, 仙台環境開発 佐藤真哉	p.373

**E4: セッションはありません。**

**E5: 有害物質の溶出・除去** 【17(木) 10:45~12:15 第5会場】 座長：国立環境研究所 石森洋行

	E5-1-O	火山灰土壌と酸化マグネシウムを用いたハイドロタルサイトの合成およびその陰イオン吸着能に関する検討 早稲田大学 ○徳永太亮, 香村一夫, 楠原詩乃, 江鉦欣	p.375
	E5-2-O	炭酸化と物理選別を組み合わせた処理が焼却主灰からの重金属溶出に与える影響 フジタ ○高地春菜, 久保田洋, 繁泉恒河, 福岡大学 佐藤研一, 永山陽裕, 藤川拓朗, 古賀千佳嗣 国立環境研究所 肴倉宏文, 飯野成憲, Back Seungki, エコネコル 植田健渡	p.377
	E5-3-O	産業廃棄物最終処分場におけるボーリング掘削コア試料の鉱物組成の違いが重金属溶出性に与える影響の検討 国立環境研究所 ○北村洋樹, 沖縄県衛生環境研究所 井上豪, 鳥取県衛生環境研究所 成岡朋弘 三重県保健環境研究所 立野雄也, 国立環境研究所 石垣智基, 埼玉県環境科学国際センター 長森正尚 国立環境研究所 山田正人	p.379
	E5-4-O	汚染土壌からの鉛除去に及ぼすキレート剤の影響 東北大学 ○須藤れな, 亀田知人, 熊谷将吾, 熊谷組 長洲亮佑, 横塚享, テクノス 田部智保 東北大学 齋藤優子, 吉岡敏明	p.381
	E5-5-O	遮断型処分場の長期的な環境安全性評価に向けた特別管理廃棄物の溶出挙動の把握 国立環境研究所 ○石森洋行, 石垣智基, 肴倉有史, 新井裕之, 遠藤和人, 山田正人	p.383
ポスター1	E5-6-P	焼却主灰中塩類の低溶出率に関する研究 北海道大学 ○日下部一, 黄仁姫, 松尾孝之, 東條安匡, 松藤敏彦	p.385
ポスター2	E5-7-P	難透水性地盤を対象とした1,4-ジオキサン汚染地盤地下水の環境修復技術に関する基礎的検討 八戸工業大学 ○鈴木拓也, 笠井勇佑, 小泉あかね, 福士憲一	p.387
誌上	E5-8-W	遮断型処分場に処分される耐火材からの六価クロムの長期溶出特性とその抑制対策 北海道大学 横井理南, ○東條安匡, 松尾孝之, 松藤敏彦, 黄仁姫, 国立環境研究所 山田正人	p.389
誌上	E5-9-W	無機リン系薬剤により灰の不溶化処理を行った模擬埋立槽からの浸出水挙動 福岡大学 ○劉佳星, 重松幹二, 為, 田一雄, 樋口壯太郎	p.391
誌上	E5-10-W	高分子系改質剤による廃棄物土の選別に関する考察 鴻池組 ○花木陽人, 武村直幸, 日古典哉, 森田俊成, 大山将, 吉岡由郎	p.393

**F1: 有害性化合物・金属** 【16(水) 10:00~11:30 第6会場】 座長：京都大学 藤森崇

	F1-1-O	土木用不織布からのマイクロプラスチック・ファイバーの発生に関する研究 九州大学 ○福田敦輝, 中山裕文, 島岡隆行	p.395
	F1-2-O	ポリ塩化ビフェニルの経年的排出量推定 京都大学 ○小柴絢一郎, 平井康宏, 酒井伸一	p.397

	F1-3-O	HCl(g)とCl <sub>2</sub> (g)を分別定量する方法	大阪工業大学 ○渡辺信久	p.399
	F1-4-O	金属ナトリウム分散体による短鎖塩素化パラフィン類の無害化処理: スケールアップ試験の評価	京都大学 ○藤森崇, 神鋼環境ソリューション 小倉正裕, 千葉大学 江口哲史, 京都大学 寺田彩乃, 高岡昌輝	p.401
	F1-5-O	無機塩素とのプラスチック焼却によるクロロベンゼン類とポリ塩化ビフェニル類の媒体別発生挙動	京都大学 ○寺田彩乃, 藤森崇, 西田崇矩, 高岡昌輝	p.403
	F1-6-O	アロフェンを主成分とする火山灰土壌を用いた硝酸態窒素の除去	早稲田大学 ○楠原詩乃, 香村一夫	p.405
ポスター1	F1-7-P	副生PCB分析における多層シリカゲルカラムの応用	クレハ環境 ○阿部祐紀, 大岡幸裕, 草野洋平, 緑川拓也	p.407
ポスター2	F1-8-P	ベトナムのe-waste・ELV解体処理場における代替ハロゲン系難燃剤汚染	愛媛大学 ○狩生凌吾, 後藤哲智, Nguyen Minh Tue, Hoang Quoc Anh, 高橋真, 国立環境研究所 鈴木剛 VNU University of Science Pham Hung Viet, 愛媛大学 田辺信介, 国末達也	p.409
ポスター1	F1-9-P	廃棄物処理施設空気中の粒子状物質のラマン分光法による分析	国立環境研究所 ○山本貴士, 高田恭子	p.411
誌上	F1-10-W	加熱脱塩素化処理による飛灰中ダイオキシン類の挙動(第2報)	大阪市立環境科学研究センター ○高倉晃人, 増田淳二	p.413
誌上	F1-11-W	色素染色による建材表面のアスベストの顕微鏡検出	佐賀大学 ○田端正明, 北島武, 矢田光徳	p.415
誌上	F1-12-W	下水汚泥焼却灰を用いたフッ素除去剤の開発(II)	四日市大学 高橋正昭, ○武本行正, 三重中央開発 結城英二, 亀本和成 三重県環境保全事業団 寺澤爵典, 鈴木淳史	p.417

**F2: 除染廃棄物の性状・処理** 【16(水) 13:00~14:30 第6会場】 座長: 国立環境研究所 倉持秀敏

	F2-1-O	放射性物質に汚染された焼却残渣の減容化処理プロセスの比較	国立環境研究所 ○有馬謙一, 大迫政浩, 産業技術総合研究所 保高徹生, 三菱総合研究所 篠崎剛史	p.419
	F2-2-O	除染廃棄物等焼却主灰・飛灰に対する灰溶融時の放射性Csの挙動の検討	京都大学 ○野田康一, 国立環境研究所 倉持秀敏, 阿部清一, 京都大学 高岡昌輝 国立環境研究所 大迫政浩	p.421
	F2-3-O	Csの吸着率に関する基礎研究	中外テクノス ○松岡巨恒, 近藤貴志, エックス都市研究所 堀井安雄, ボルクレイ・ジャパン 浦部朋子 北海道大学 石井一英	p.423
	F2-4-O	ばいじん等からのCs分離回収とその安定化技術の実証	日立造船 ○西崎吉彦, 市川誠吾, 太平洋セメント 寺崎淳一, 平本太基 国立環境研究所 有馬謙一, 倉持秀敏, 大迫政浩	p.425
	F2-5-O	ジオポリマーによる溶融飛灰中セシウム不溶化に対する NaOH 濃度の影響	京都大学 ○辻井張希, 塩田憲司, 日下部武敏, 藤森崇, 大下和徹, 高岡昌輝	p.427
ポスター2	F2-6-P	アルミノケイ酸塩を用いた汚染飛灰中放射性Csの難溶性態化に関する研究	北海道大学 坪井成浩, ○東條安匡, 国立環境研究所 新井裕之, 北海道大学 松尾孝之, 松藤敏彦, 黄仁姫	p.429
ポスター1	F2-7-P	福島第一原子力発電所の廃炉により生ずるコンクリート廃棄物中のCs, Srの侵入状況評価手法の検討	北海道大学 ○横川将也, 国立環境研究所 山田一夫, 北海道大学 東條安匡, 松藤敏彦, 松尾孝之, 黄仁姫	p.431
ポスター2	F2-8-P	除染廃棄物の熱処理によって生ずる濃縮物中のCsのアルミノ珪酸塩による捕捉率向上	北海道大学 ○和田航汰, 東條安匡, 松尾孝之, 松藤敏彦, 黄仁姫	p.433
誌上	F2-9-W	特定廃棄物セメント固型化処理における配合設計について	鴻池組 ○大山将, 中島卓夫, 国立環境研究所 遠藤和人	p.435



## 【International Hybrid Session Program (国際ハイブリッドセッションプログラム)】

On-line short oral presentation	: Sep. 16, Wed., 13:00 ~ 16:15
	: Sep. 17, Thu., 9:00 ~ 12:15
On-line discussion on poster presentation:	Sep. 16, Wed., 16:30 ~ 17:50
	: Sep. 17., Thu., 13:15 ~ 14:35

### Short oral presentation session: I2

Chair: Kosuke KAWAI (National Institute for Environmental Studies)

#### IA 3R / Waste management

IA-1	Model conceptualization of the recovered paper system in Indonesia: Perspectives from sustainability and the informal sector	p.437
	<i>Tohoku University</i> OLUKMAN Kevin Muhamad, <i>Universitas Indonesia</i> HIDAYATNO Akhmad <i>Tohoku University</i> MATSUBAE Kazuyo	
IA-2	Challenges faced by teachers through education for the SDGs -Consideration for emerging issues on waste management and recycling-	p.439
	<i>Tohoku University</i> OOSANAI Shiori, OKUBO Kazuaki, YU Jeongsoo	
IA-3	Reviews on release of plastic waste and its fate in the environment	p.441
	<i>National Institute for Environmental Studies</i> OISHIGAKI Tomonori, NOPPHARIT Sutthasil, YAMADA Masato OSAKO Masahiro	
IA-4	The color preference and noticeability of trash bins	p.443
	<i>Tokyo Institute of Technology</i> OLEEABAI Nattapon <i>Kasetsart University</i> AREEPRASERT Chinnathan, BUSSA Bundit, Viriyapanitchakij Niti <i>Tokyo Institute of Technology</i> DILIXIATI Dilinazi, TAKAHASHI Fumitake	
IA-5	Identification of factors affecting the performance and sustainability of waste banks in urban areas: Case study of east Jakarta and Bekasi municipality, Indonesia	p.445
	<i>Ritsumeikan University</i> OSIMAMORA Ruth Isabella, <i>Institut Teknologi Bandung</i> MARYATI Sri <i>Ritsumeikan University</i> DENTE Sebastian, HASHIMOTO Seiji	
IA-6	Construction and demolition waste: Recycling potential in Hanoi, Vietnam	p.447
	<i>National Institute for Environmental Studies</i> OHOANG Han Ngoc, ISHIGAKI Tomonori, KUBOTA Rieko <i>National University of Civil Engineering</i> TONG Kien Ton, NGUYEN Hoang Giang <i>National Institute for Environmental Studies</i> YAMADA Masato, <i>Saitama University</i> KAWAMOTO Ken	
IA-7	The effectiveness of E-money incentive mechanism in promoting separation of recyclables at source in Malaysia	p.449
	<i>Hokkaido University</i> OARIFFIN Faisal Bin, ISHII Kazuei, SATO Masahiro, OCHIAI Satoru	

#### IB LCA/MFA

IB-1	A comprehensive life cycle assessment on EV's lithium-ion battery in China	p.451
	<i>Tohoku University</i> OWANG Shuoyao, YU Jeongsoo, OKUBO Kazuaki	
IB-2	Comparative assessment of carbon emissions and cost-effectiveness of auto-bumper recycling method	p.453
	<i>Tohoku University</i> OJIN Hao, YU Jeongsoo, OKUBO Kazuaki	

### Short oral presentation session: I3

Chair: Tomonori ISHIGAKI (National Institute for Environmental Studies)

IB-3	Land-use change-related environmental impact assessment for the coal mining industry in Indonesia	p.455
	<i>Tohoku University</i> OSETIAWAN Imam Eko, MATSUBAE Kazuyo	
IB-4	Environmental impact analysis of anthropogenic mercury releases in China	p.457
	<i>Okayama University</i> OHABUER, FUJIWARA Takeshi, <i>Kyoto University</i> TAKAOKA Masaki	
IB-5	Strategy of landfilled waste reduction by a distributed materials recovery facility system in Surabaya, Indonesia	p.459
	<i>Hokkaido University</i> OMUHAMAD Afif Faiq, ISHII Kazuei, SATO Masahiro, OCHIAI Satoru	
IB-6	Comparison of bio-drying MBT with other energy recovery system in terms of energy balance and life cycle CO <sub>2</sub> emission	p.461
	<i>Hokkaido University</i> OHAM Geun-Yong, MATSUTO Toshihiko	
IB-7	Impact of culture and religion on India's food phosphorus footprint	p.463
	<i>Tohoku University</i> ODHAR Aurup Ratan, <i>National Agriculture and Food Research Organization</i> OITA Azusa <i>Tohoku University</i> MATSUBAE Kazuyo	

## IC Recycle

- IC-1 Estimation of compost potential demand through agriculture land allocations and crop callendars, Case study of Rabat area in Morocco p.465  
*Toyo University* OCHERKI Mohamed Hamza, KITAWAKI Hidetoshi
- IC-2 Effect of seeding materials on the composting process of model organic waste: Organic matter degradation and succession of microbial community p.467  
*Tokyo Institute of Technology* OLOAKASIKARN Tosawat, YUTARO Kubota, KOYAMA Mitsuhiko, NAKASAKI Kiyohiko
- IC-3 Microbial community and predicted biochemical pathways changes with organic load in anaerobic digestion p.469  
*Tokyo Institute of Technology* OMERCADO Jericho Victor Lagasca, KOYAMA Mitsuhiko, NAKASAKI Kiyohiko
- IC-4 Oyster shell as pH control substitute for two stage anaerobic co-digestion system p.471  
*Okayama University* ONOTODARMOJO Peni Astrini, FUJIWARA Takeshi, HABUER

### Short oral presentation session: I4

**Chair: Misuzu ASARI (Kyoto University)**

- IC-5 The rheological properties from organic waste in developing countries p.473  
*National Institute for Environmental Studies* OSUTTHASIL Noppharit, ISHIMORI Hiroyuki, ISHIGAKI Tomonori, YAMADA Masato
- IC-6 Recovery of ferulic acid from wheat bran by using calcium hydroxide p.475  
*Hirosaki University* OKURNIA Irwan, YOSHIDA Akihiro, SONOKI Tomonori, GUANG Guoqing, ABUDULA Abuliti
- IC-7 Recycling of copper, PVC, and plasticizer from waste wire harnesses by wet ball milling p.477  
*Tohoku University* OKUMAR Harendra, KUMAGAI Shogo, KAMEDA Tomohito, SAITO Yuko, YOSHIOKA Toshiaki
- IC-8 Suitable flocculant selection and continuous wastewater treatment using Mg-Al layered double hydroxides – a case study targeting mine wastewater containing As and Fe p.479  
*Tohoku University* OYANG Xinyi, OSAWA Hikaru, KAMEDA Tomohito  
*Japan Oil, Gas And Metals National Corporation (JOGMEC)* MASAKI Yusei  
*Tohoku Univerisity* KUMAGAI Shogo, SAITO Yuko, YOSHIOKA Toshiaki
- IC-9 KS Addition of reduced graphene oxide to an activated carbon cathode increases power generation of microbial fuel cell p.481  
*Chonnam National University* OKOO Bonyoung, JUNG Sokhee
- IC-10 KS Comparative evaluation of microbial fuel cell performance and electrochemistry with different anode configurations, structures and materials p.483  
*Chonnam National University* OSON Sunghoon, JUNG Sokhee
- IC-11 KS Enhanced area of current collector increase power generation of microbial fuel cell p.485  
*Chonnam National University* OCHAI Hyungwon, JUNG Sokhee
- IC-12 KS Electrochemistry and influence of flowrate to a reverse electro-dialysis stack in microbial reverse electro-dialysis cell p.487  
*Chonnam National University* OHUONG Tran, JUNG Sokhee

## ID Thermal treatment

- ID-1 The potential for energy recovery from end-of-life tire recycling in Cameroon: A system dynamics approach p.489  
*Tohoku University* ONUMFOR Solange Ayuni, ZHANG Zhengyang, MATSUBAE Kazuyo
- ID-2 KS A study on the burning characteristics of the mixture of the food and plastic waste for the solid refuse fuel p.491  
*Hanbat National University* OHM Tae In, OCHAE Jong S., CHUNG Yong T., YOON Yong M., LEE Da H.

### Short oral presentation session: I5

**Chair: Satoshi MIZUTANI (Osaka City University)**

- ID-3 Hydrothermal carbonization of spent coffee ground: Application of pretreatment for activated carbon synthesis p.493  
*The University of Tokyo* OQIN Shiming, NUNOURA Teppei, SAWAI Osamu
- ID-4 Investigation on mechanism of potassium removal from EFB by hydrothermal treatment: Characterization and regression model p.495  
*Tokyo Institute of Technology* OTSANI Tsamara, TAKAHASHI Fumitake

## IE Landfill

- IE-1 Assessing heating value of MSW of Dhaka city to support WtE technology p.497  
*Toyo University* OMONDAL Md Shoriful Alam, KITAWAKI Hidetoshi
- IE-2 Characteristics of chlorine and metal(loid)s in residue and soil from an open dumping and burning site of

	municipal solid waste in Kabwe, Zambia	p.499
	<i>Kyoto University</i> OZHANG Mengmei, FUJIMORI Takashi, <i>Hokkaido University</i> NAKAYAMA Shouta M M <i>Kyoto University</i> SHIOTA Kenji, <i>Hokkaido University</i> NAKATA Hokuto, ISHIZUKA Mayumi <i>Kyoto University</i> TAKAOKA Masaki	
IE-3	Detection of subsurface fire in waste pile: proposal of investigation flow and a case study in an inappropriate landfill site	p.501
	<i>National Institute for Environmental Studies</i> OMO Jialin, ENDO Kazuto, MIURA Takuya, NAKAMURA Kosuke ARAI Hiroyuki	
IE-4	Landfill gas flux in a closed semi-aerobic landfill	p.503
	<i>Muroran Institute of Technology</i> OBINYU Xi, YOSHIDA Hideki, HUY Vu Quang	
<b>IF Hazardous waste</b>		
IF-1	Possible metal speciation in the fly ash produced from a fluidized bed incinerator of municipal solid waste	p.505
	<i>Tokyo Institute of Technology</i> ODAHLAN Astryd Viandila <i>National Institute for Environmental Studies</i> KITAMURA Hiroki, SAKANAKURA Hirofumi <i>Kyushu University</i> SHIMAOKA Takayuki, <i>National Institute for Environmental Studies</i> YAMAMOTO Takahshi <i>Tokyo Institute of Technology</i> TAKAHASHI Fumitake	
IF-2	Insolubilization of lead in MSW fly ash by co-heating with aluminosilicate	p.507
	<i>Hokkaido University</i> OGUAN Zihao, TOJO Yasumasa, HWANG In-Hee	
IF-3	Leaching behavior of elements in recycled roadbed material using solidified boiler fly ash	p.509
	<i>Miyazaki University</i> OSANTIAGO Jose Rodolfo, SEKITO Tomoo, DOTE Yutaka	

## 企画セッション

各研究部会による企画セッションや若手の会からの企画です。研究発表会の参加者には、これらの企画にも広くご参加いただき、研究発表会さらには本学会を通じての研究活動、社会活動が活発になされることを狙いとしています。

- ※内容が一部変更される可能性があることをご確認ください。
- ※最新情報は、各部会の web ページもご覧ください。 [https://jsmcwm.or.jp/?page\\_id=23](https://jsmcwm.or.jp/?page_id=23)
- ※配付資料は、各部会の web ページにある場合があります。ご確認ください。

### G1 環境工学の若手研究者との交流～新たな視点から廃棄物分野を見る～

9月18日(金) 10:00～11:30 第4会場

(若手の会)

昨今の COVID-19 の脅威や、水害頻発、猛暑など社会・環境問題が発生している中で、これまでの廃棄物分野の学術的視点(物質循環や、適正処理技術の開発など)だけでなく、新たな視点によるアプローチが必要と考えられます。例えば、資源循環におけるウイルスの動態や感染対策、災害時における廃棄物の排出(復旧作業)や手選別において、生理学的知見からの作業効率性や作業者の安全性の確保が挙げられます。そこで、本セッションでは、学術分野を超えた交流を図るために、水環境中のウイルスや人間生理学の研究に携わる若手研究者2名を講師にお招きして講演をいただきます。講演に関する質疑に加え、ウイルスや人間生理学的な視点から、廃棄物処理について、参加者の皆様とともに討論します。皆様、奮ってご参加下さい。

講演(予定)

1. 下水中の新型コロナウイルスに関する最新知見(仮)  
北海道大学大学院工学研究院 水質変換工学研究室 北島 正章 氏
2. 室内環境と人の生理特性に関する研究(仮)  
北海道大学大学院工学研究院 環境人間工学研究室 李 相逸 氏

### G2 バイオマス利活用およびバイオガス発電 言いたい放題

9月18日(金) 13:00～14:30 第1会場

(バイオマス系廃棄物研究部会)

FIT(再生可能エネルギー固定価格買取制度)によりバイオマス利活用に改めて注目度が高まった。バイオガス発電は、さあこれからという段階に入っている。様々な意味でも間違いなく新しい局面にあることは事実である。一方、社会の流れからポスト FIT への変革が間もなく起こる。過去二年の企画セッションでは、「出揃った！？各種メタン発酵システムの稼働状況-中温湿式・高温湿式・縦型乾式・小規模普及型メタン発酵システム事業者からの報告-(2018年9月@名古屋大学)」、「バイオガス化事業における破壊的イノベーション～事業展開における課題と展望～(2019年9月@東北大学)」のタイトルで企画セッションを行い、この春には、廃棄物計画部会と合同で「廃棄物のメタン発酵システムの導入と運転維持管理(2020年5月開催@リモート)」のタイトルでセミナーを開催した。企画セッションでは、いずれも100名近い参加者が集まり、セミナーでは300名近い参加者が集まった。これまでのいろいろな角度からバイオガス発電を主に取り上げてきた。参加者はバイオガス発電を含めバイオマス利活用入門者から事業者と多岐にわたっている。当然、希望する話題も多岐に富む。アンケートによる質問からもそれが判る。毎回、共通して言えることは、後半に行うパネルセッションの時間が短くなる傾向がある。

本セッションでは、最初からオープンディスカッション形式で行うことにする。あらかじめ話題提供者を数名決めておく。部会のホームページでは、セッションの直前まで、あるいは可能であればその場でも希望する話題を募り、情報および意見交換を行う。リモートの開催であるからこそ、愉しくごつばらんに、希望すればビデオなしで、バイオマス利活用およびバイオガス発電に関して言いたい放題・質問したい放題の時間を提供する。日頃の疑問から学会や部会への要望、現在のバイオマス利活用の状況や今後の方向性、特に次年度から数年先を見据えた情報の共有ができればと願っている。はじめに、過去二回の企画セッションの総括と合同セミナーでの大門裕之(バイオマス系廃棄物研究部会長、豊橋技術科学大学)の講演まとめを紹介する。

【プログラム ; 1)を除き話題提供は一人5分以内】

司会・主旨説明) 大門裕之 (バイオマス系廃棄物研究部会長、豊橋技術科学大学)

- 話題提供1) 環境省中部地方環境事務所 金井信宏 氏 ; 地域循環共生圏形成とポスト FIT  
 話題提供2) (株)富士グリーン 藤本亜衣 氏 ; 縦型乾式メタン発酵システムの経済性評価  
 話題提供3) ゼネック(株) 熱田洋一 氏 ; 小規模バイオガス発電状況と新たな取り組み

### G3 ～札幌市篠路工場での施設園芸熱利用事例～ 角田芳忠氏講演会 (一般財団法人日本環境衛生センター)

9月18日(金) 13:00～14:30 第2会場

(ごみ文化・歴史研究部会)

ごみの熱利用と廃プラ処理という永遠の2大テーマを改めて取り上げ、活発な議論を経て新たな展望につなげたい。

#### 講演要旨

- 札幌市篠路清掃工場における温室団地へのエネルギー利用事例  
 約40年前の大規模施設園芸へのエネルギー利用を振り返る。蒸気タービンの抽気蒸気を利用した44棟のビニールハウスでの野菜栽培。導入から撤退に至る足跡をたどり、約14年間におよぶ札幌市の取り組みを確認しながら、寒冷地におけるごみエネルギー利用の現代への適用可能性を考える
- 廃プラスチックの合理的な処理について、改めて考え議論しよう  
 昨今、また廃プラスチック処理が取りざたされている。廃プラ処理は、古くて新しい課題として議論が続いている。活発な質疑応答、積極的な討論を期待して、燃焼・エネルギー回収(Waste-to-Energy)推進の立場から話題提供する

#### 講師略歴:

角田 芳忠 (かくた よしただ)

1981年 北海道大学大学院修士課程修了、(株)タカマ入社。ごみ焼却施設に係る基本設計や技術開発業務等に従事。1999年博士(工学)(北海道大学)、北大院寄付講座特任准教授、日環工業会技術委員長などを経て、本年4月から(一財)日本環境衛生センターに転籍。

### G4 プラスチックリサイクルに対する新型コロナウイルスの影響

9月18日(金) 13:00～14:30 第3会場

(リサイクルシステム・技術研究部会)

使用済みプラスチック等については、2017年12月末の中国による禁輸措置を皮切りに、東アジア諸国で輸入規制が順次行われ、国内における未処理廃棄物の許可容量を超えた保管・滞留が報告されていました。2020年初旬にかけて保管量増加傾向は緩やかになってきましたが、4月以降は、新型コロナウイルスの影響を受けて使用済みプラスチックの排出傾向が変化し、その収集・処理においても対応が迫られています。

本企画セッションでは、外国政府による輸入規制や新型コロナウイルスによる使用済みプラスチックの処理・リサイクルへの影響について、正に現場で対応されている事業者様にお話いただくとともに、当面継続することが想定される「with コロナ」におけるプラスチック資源循環のあり方について意見交換を行います。

#### プログラム

- |                                   |                                    |       |
|-----------------------------------|------------------------------------|-------|
| 1. テーマの概略説明                       | 東京大学                               | 中谷 隼氏 |
| 2. 講演                             |                                    |       |
| 2-1 廃棄物全般の収集運搬工程における影響            | 都築鋼産株式会社                           | 梶 希帆氏 |
| 2-2 廃棄物処理・リサイクル事業における新型コロナウイルスの影響 | J&T 環境株式会社                         | 影山嘉宏氏 |
| 2-3 廃棄物は資源                        | 株式会社富山環境整備                         | 谷島 篤氏 |
| 3. パネルディスカッション                    |                                    |       |
| パネリスト                             | 梶 希帆氏 影山嘉宏氏 谷島 篤氏                  |       |
|                                   | 加茂 徹氏 産業技術総合研究所(リサイクルシステム・技術研究部会長) |       |
| コーディネータ                           | 中谷 隼氏                              |       |

## G5 「廃棄物最終処分場の廃止について— 一般廃棄物処分場における自主基準値及び廃止した産業廃棄物処分場へのアンケート調査—」

9月18日(金) 13:00～14:30 第5会場

(埋立処理処分研究部会)

埋立処理処分研究部会では「埋立処分工学の体系化」を活動の目標とし、重要な課題として、「廃棄物処分場の廃止」について議論してきた。2019年度の春の討論会では廃止基準の作成経緯及び廃止手続の事例報告、そして秋の研究発表会では埋立ガス測定方法の標準化の必要性や適正な廃止のあり方、さらに廃止基準の施行から21年目を迎える課題について議論し、また若手の研究者及び実務者との意見交換を行った。特に「廃止と安定化」「埋立ガス・温度等の評価方法」「今後の廃止基準で考えるべき点」などについて議論が行われた。また、部会が2002年にまとめた報告書のアップデートの必要性についても議論された。

これまでは一般廃棄物最終処分場を検討対象事例として取り上げてきたが、一般廃棄物最終処分場の施設数とほぼ同数で産業廃棄物最終処分場が存在しており、特に安定型・管理型・遮断型の種類があることから、廃止の実態は多岐にわたっている可能性がある。

本企画では、まず一般廃棄物最終処分場の廃止における基準値設定の背景、これまでの廃止数、そして自主基準値の設定状況についてのアンケート調査により、技術上の基準に定められた数値より相当に低く設定されている現状について報告する。つぎに産業廃棄物最終処分場の廃止数、そして廃止した産業廃棄物最終処分場の事業者を対象にしたアンケート調査により廃止の実施内容について報告する。

これらの報告を通じて、廃止基準に規定されている「保有水水質、ガス発生状況、温度等」の指標に関する廃棄物最終処分場の廃止の実態を明らかにするとともに、さらに廃止実態調査の必要性、最終処分場廃止のあり方、今後の埋立処理処分研究部会の活動方針などについて参加者と意見交換を行う。

<話題提供>

- ① 一般廃棄物最終処分場における自主基準値の設定状況(20分):松藤敏彦(北海道大学)
- ② 廃止した産業廃棄物最終処分場に関するアンケート調査について(20分):柳瀬龍二(福岡大学)

<ワークショップ>

- ③ 一般廃棄物最終処分場・産業廃棄物最終処分場の廃止の調査の必要性、最終処分場廃止のあり方、今後の埋立処理処分研究部会の活動方針などについて、参加者と意見交換を行う。

埋立処理処分研究部会のサイトも御覧ください。本企画セッションに関する情報を適時掲載いたします。

<https://jsmcwm.or.jp/landfill/>

## G6 県外産業廃棄物の流入規制について

9月18日(金) 14:45～16:15 第1会場

(産廃研究部会)

一般廃棄物処理は市町村の事務として原則各自治体において地元で処理がなされている。他方、産業廃棄物処理は「排出事業者責任」を原則とする民業の分野であり、適正処理を前提として広域処理も行われている。しかしながら、各自治体における県外産業廃棄物の流入規制等に関する条例や要綱等が、合理的・効率的な処理の足枷になっている状況が散見される。

本部会では平成21年度に全国の条例等の状況について一度調査を行い、その後約10年が経過した。その間に行われた規制の合理化のほか、平成30年1月以降のプラスチック禁輸措置に伴う処理逼迫による緩和要請の高まり、平成23年度に施行した優良産廃処理業者認定制度に関する優遇措置としての限定的な緩和等も見られるようになってきていることから、最新動向の把握に加えて、今後の緩和・合理化に期待しつつ、改めて調査を行った。

今回は、都道府県・政令市に部会員が直接出向いてヒアリングを行い、地域の実情に合わせた廃棄物施策としての位置づけ等について改めて確認し、意見交換できたことは収穫であった。

プログラム(予定)

1. 東日本A(北海道(除、旭川市)、東北並びに北関東)
2. 東日本B(旭川市、南関東、山梨県、及び新潟県)

3. 中部(長野県、北陸、東海)
4. 西日本(近畿、中国、四国、九州及び沖縄)

各テーマを続けて4人がそれぞれ10分程度で研究発表を行う。  
発表終了後に、まとめて質問を受け付け、各地域に関して回答を行う。

## G7 地域に新しい価値を見出す廃棄物計画(2) —地域循環共生圏における廃棄物処理施設の役割とその価値向上—

9月18日(金) 14:45~16:15 第2会場

(廃棄物計画研究部会)

循環型社会形成推進基本計画(以下「循環基本計画」)では第四次から「地域循環共生圏」の概念が示され、関連する事業や施設の計画や運用の事例が多数存在している。廃棄物計画研究部会では、自治体における廃棄物計画から、廃棄物管理をとりまく地域の社会経済的な要素を含めたシステム全体に関して議論しており、地域循環共生圏の要素とも深く関わってきた。

こういった背景をふまえ、廃棄物計画研究部会では、秋の企画セッションとして、地域循環共生圏における廃棄物処理施設の役割とその価値向上を議論する。まず、国立環境研究所の五味馨氏に、地域循環共生圏の評価の指標や手法を講演いただく。つぎに、(一社)日本環境衛生施設工業会の増田孝弘氏に廃棄物処理施設からの熱利用などの高付加価値化の事例について講演いただく。さらに、当部会からは川崎重工業の山口茂子氏に廃棄物処理施設の価値についてご講演いただく。また、会場の参加者から質問や意見も受け付ける。さいごに、パネルディスカッションを実施し、将来における地域循環共生圏の展望と廃棄物処理施設の役割と価値のあり方を明らかにする。

### プログラム

1. 開会挨拶
2. 講演
  2. 1「地域循環共生圏の理念を活用した持続可能な地域づくりを支援する研究」  
五味馨氏(国立環境研究所)
  2. 2「我が国の廃棄物処理施設からの熱利用などの高付加価値化の事例」  
増田孝弘氏((一社)日本環境衛生施設工業会)
  2. 3「廃棄物処理施設の新たな価値」  
山口茂子氏(川崎重工業株式会社)
3. パネルディスカッション
  - ・コーディネーター: 稲葉陸太氏(国立環境研究所)
  - ・討論: 五味氏、増田氏、山口氏
4. 閉会挨拶

### 講演資料

9月16日から廃棄物資源循環学会、廃棄物計画研究部会のホームページにて講演資料をダウンロードできます。同ページは下記の URL からご参照ください。  
<https://jsmcwm.or.jp/planning/>

## G8 木材利用による脱炭素化への貢献: 炭素勘定と技術開発の動向

9月18日(金) 14:45~16:15 第6会場

(物質フロー研究部会)

木材利用は、脱炭素社会の構築に向けて、さらなる促進が期待されている。その普及効果の評価するためには、木材利用に関連する温室効果ガス排出量および炭素蓄積量の算定を的確に行うことが必要である。また、木質材料のさらなる低炭素化を進めるためには、合板等に使用されている合成系接着剤由来のCO<sub>2</sub>排出量を削減する技術開発も求められる。

木材や木材製品の利用促進に伴う効果を的確に評価するには、バイオマスをカーボンニュートラルとして焼却時のCO<sub>2</sub>排出量をゼロとしてカウントするだけでなく、木材の伐採や植林・成長、木材製品のストック量の増減に伴う炭素蓄積量の変化を考慮した温室効果ガスの排出・吸収量の算定が必要

である。

合板やパーティクルボードなどの木質材料においては、原料として合成系接着剤も使われている。これら木材用接着剤に由来する CO<sub>2</sub> 排出量は、現状の各国の温室効果ガス排出インベントリでは未算定であり、この算定方法の開発が求められている。また、天然系接着剤の開発や、接着剤の微量塗布技術の開発により、木質材料の環境性能をさらに高めることも期待される。

そこで、本セッションでは、木材利用による温室効果ガス排出量の算定方法や、木材用接着剤の低炭素化に資する技術開発の状況について、情報共有を図り、今後の展望について議論を深めます。

#### プログラム

1. 木材製品のフロー・ストックと温室効果ガス排出量 立命館大学 橋本征二
2. 木質材料用接着剤からの化石由来温室効果ガス排出量 京都大学 平井康宏
3. 天然系木材用接着剤の開発動向(仮) 京都大学 梅村研二
4. 木材用接着剤の微量塗布技術(仮) 秋田県立大学 山内秀文

総合討論： 司会 酒井伸一(京都大学)

各パネリストに 15 分程度の話題提供をいただき、引き続き会場との質疑応答、意見交換を行います



# 市民展示・環境学習施設展示(一般公開・無料)

## 市民展示 Web 掲載

9月16日(水)～18日(金) Web 掲載

URL: <https://jsmcwm.or.jp/taikai2020/exhibition1/>

(主催:廃棄物資源循環利用のための市民講座実行委員会)

(共催:実行委員会)

市民展示では、北海道やその他の地域で、環境活動・環境教育活動を実施する市民団体 10 団体によって、廃棄物を出さないようにする取り組みや、今話題のプラスチック問題への取り組み、生ごみのエネルギー化や液肥利用の資源循環の取り組み等について展示紹介します。

Web 開催に変更になってしまいましたが、各団体の紹介が多数行われる予定ですので、当学会会員・非会員に関わらず多くの皆様にぜひ Web サイトをご閲覧頂き、情報交換や交流の場としていただければ幸いです。

### 展示団体名と企画内容

	出展団体・施設名	活動概要
①	特定非営利活動法人 ezorock <a href="https://www.ezorock.org/">https://www.ezorock.org/</a>	環境対策活動「Earth Care」プロジェクトでは、野外ロックフェスにおける環境対策活動をはじめ、海のプラスチック問題、生ごみから堆肥をつくり、翌年のフェスティバルの食材として還元する取り組みを展開しています。
②	特定非営利活動法人 環境り・ふれんず <a href="https://refriends.jimdofree.com/">https://refriends.jimdofree.com/</a>	資源・エネルギーの循環と浪費の抑制を図り「循環型社会」を創るために、ごみ減量に関わる様々な事業を行っています。
③	特定非営利活動法人 北のごみ総合研究所 <a href="https://kitagomis.jimdofree.com/">https://kitagomis.jimdofree.com/</a>	北海道で暮らすひとり一人が身近な“ごみ問題”に関心をもち、自然と共生できる社会を目指すため廃棄物に関する調査・研究活動を行っています
④	ごみ減量実践活動ネットワーク <a href="http://www.city.sapporo.jp/seiso/slimnet/index2.html">http://www.city.sapporo.jp/seiso/slimnet/index2.html</a>	市民・事業者・行政が一体となって、ごみ減量活動を推進していく枠組みとして平成 17 年 3 月に設立されました。家庭の生ごみ減量を始め、環境教育講座、フォーラム等の普及啓発活動に取り組んでいます。
⑤	札幌市資源リサイクル事業協同組合 <a href="https://sapporoshigen.jimdofree.com/">https://sapporoshigen.jimdofree.com/</a>	札幌市資源リサイクル事業協同組合は、札幌市内の資源回収業者 37 社とメーカー 1 社により構成し、資源の有効利用と廃棄物の削減に取り組んでいます。
⑥	全国友の会 北海道部 <a href="http://www.zentomo.jp">http://www.zentomo.jp</a>	1930 年 羽仁もと子を中心に『婦人之友』の愛読者によって誕生した団体で、「よい社会はよい家庭から」をモットーに、衣・食・住(環境含む)・家庭経済・子どものこと等、各々の生活を材料に学び合い活動しています。
⑦	北海道紙パック会 <a href="http://www.corelex.co.jp/dohei/milkcarton.html">http://www.corelex.co.jp/dohei/milkcarton.html</a>	1987 年に牛乳パックのリサイクルを通じ「使い捨て社会を見直し、物を大切にしましょう」を提唱し、紙パックの回収運動を進めています。
⑧	北海道容器包装の簡素化を進める連絡会 <a href="https://yokihoso.jimdofree.com/">https://yokihoso.jimdofree.com/</a>	容器包装の簡素化を進め、循環型社会の実現と地域環境の保全を図ることを目的とし、これに賛同し一緒に行動できる参加団体が連携し、活動をしています。
⑨	特定非営利活動法人北海道海濱美化を進める會 <a href="http://www.hamabika.org/umi">http://www.hamabika.org/umi</a>	当会は 20 年間「海！命の故郷～北海道の海辺を日本一美しく」をスローガンに、海浜清掃活動や冬は勉強会等を行ってきました。在北海道の日本国籍以外の人々や住民、自治体とも協働して、より良い自然環境を残したいと細かいプラスチックなども根気よく回収しています。
⑩	リサイクルプラザ宮の沢 <a href="http://www.sapporo530.or.jp/">http://www.sapporo530.or.jp/</a>	リサイクルプラザ宮の沢は、ごみ減量と不用品の有効活用、リサイクル意識の普及向上を目指す活動拠点です。

⑪	一般社団法人 持続可能環境センター	残念ながら、新型コロナウイルスの影響で第13回3R・低炭素社会検定は中止します。新しいテキストは10月初旬に店頭に並ぶ予定です。無料動画講座も配信予定です。
	<a href="https://www.3r-teitanso.jp/">https://www.3r-teitanso.jp/</a>	
⑫	廃棄物資源循環学会 消費者市民研究部会	市民生活、市民活動の中から見えてくる廃棄物・資源循環の課題について市民と研究者が一緒に考え、情報発信することを目指しています。今年の研究発表会では食品ロスについて市民フォーラムを開催します。
	<a href="https://jsmcwm.or.jp/citizens/">https://jsmcwm.or.jp/citizens/</a>	

## 環境学習施設展示

9月16日(水)～18日(金) Web 掲載

URL: <https://e-ed.jp/2020/index.html>

(実行委員会/環境学習施設部会)



本研究部会は、発足時から、全国のごみ焼却施設やリサイクルプラザ、リサイクルセンターなどにある環境学習施設等をネットワークし、知識や経験を共有するとともに、その効果の検証や運営の評価方法を検討しています。

2020年度は、テーマを「温故知新」とし、新しい施設のみさんの運営と施設運営10年前後のベテランの運営、それぞれにおける運営ノウハウや課題を、この一年間でとりあげ、運営手法から人材育成・地域連携に至るまで、様々な角度から施設運営についての議論を深めたいと考えていましたが、コロナ禍により、本研究部会のテーマを変更し、「施設のコロナ感染対策」として、環境学習施設におけるコロナへの対応策などをご紹介します展示としています。

環境学習施設展示出展団体：(五十音順)

- ・京都市南部クリーンセンター環境学習施設「さすてな京都」
- ・国崎クリーンセンター啓発施設「ゆめほたる」
- ・札幌市リサイクルプラザ
- ・多摩ニュータウン環境組合リサイクルセンター「エコにこセンター」
- ・豊中市伊丹市クリーンランド
- ・耳納クリーンステーション 耳納ねっと！再生工房
- ・京エコロジーセンター（京都市環境保全活動センター）
- ・八尾市立リサイクルセンター学習プラザ「めぐる」

## 企画フォーラム(一般公開・無料)

### 市民フォーラム「食品ロスとSDGs」

9月18日(金) 13:00~14:30 第8会場

(消費者市民研究部会)

FAO(国連食糧農業機関)は、2011年、世界全体で生産された食料の約1/3が食べられずに失われていることを指摘しました。そうした中、2015年には国連でSDGs(持続可能な開発目標)が定められ、そのターゲット12.3として2030年までに小売・消費段階の食品廃棄を半減させるという目標が設定されました。さらに食品ロスの問題は単にごみの問題だけでなく、SDGsのさまざまな目標と関係しているとされています。

そこで今年の市民フォーラムは、SDGsの視点からあらためて食品ロス削減の意義について理解を深めるとともに、先進的な食品ロス削減キャンペーンを展開する札幌市の事例や冷蔵庫整理のアドバイスをされている専門家の方から食品ロス削減について学ぶ企画にすることとしました。

みなさまのご参加をお待ちしています。

プログラム:(敬称略)

<13:00~13:05> 開会の挨拶

<13:05~13:35> 基調講演

SDGsにおける食料・エネルギーを基軸とした持続可能な社会像  
岡山 朋子(大正大学)

<13:35~13:50>

札幌市ごみ減量キャンペーン『日曜日は冷蔵庫をお片づけ。』  
岡本 俊幸(札幌市環境局環境事業部循環型社会推進課長)

<13:50~14:05>

家庭から実現する食品ロス削減~冷蔵庫整理の実力~  
広沢 かつみ(食品ロスマイスタフェロー講師)

<14:05~14:25>

質疑応答

<14:25~14:30> 閉会の挨拶

### 環境学習フォーラム ~施設のコロナ感染対策~

9月18日(金) 10:00~11:35 第8会場

(実行委員会/環境学習施設研究部会)

先のWEB展示に述べたように、今年度のテーマは「施設のコロナ感染対策」へ変更しています。

基調講演では、最新の施設における運営事情やコロナ感染対策、一方ベテラン施設からは、施設の老朽化にまつわる運営課題とコロナ感染対策を語っていただきます。さらに、WEB展示と連携して、全国の有志施設より、簡単な施設案内やコロナ感染対策について紹介するミニコーナーもご用意しています。最後は、参加者のみなさんも加わって、コロナ禍における環境学習施設の運営や今後の活動についてなど、討議(質疑応答)をいただく予定です。

【概要(予定)】(敬称略)

- 1.開催挨拶 司会 花嶋温子 副代表(大阪産業大学)
- 2.代表挨拶 高月 紘 代表(京エコロジーセンター)
- 3.基調講演 1 環境学習施設「さすてな京都」(2019年開設)  
さすてな京都コンソーシアム業務副責任者  
柳 富哉 氏
- 4.基調講演 2 リサイクルプラザ宮の沢(2000年開設)  
札幌市リサイクルプラザ統括 東 飛郎 氏
- 5.全国の施設紹介 京エコロジーセンター 新堀春輔 氏  
豊中市伊丹市クリーンランド 小篠和之 氏  
国崎クリーンセンター啓発施設 鈴木榮一 氏
- 6.質疑応答 (終了時間まで)

## 参加申込方法

### 参加費（お1人様あたり）

	研究発表会参加費 (会員は不課税、非会員は課税)
	事前申込
正、フェロー、シニア会員 公益、賛助会員所属	6,000 円
学生、個人市民 登録団体市民会員	2,000 円
非会員	10,000 円

### 事前申込方法

1. 下記参加申込期間に研究発表会専用ページ(<https://jsmcwm.or.jp/taikai2020/>)から、お申込みください。

事前参加申込期間(予定): 2020年8月17日(月)~9月10日(木)

- ・ 講演者は参加申込(有料)が必要となります。必ず事前参加申込をお願いします。
  - ・ 参加申込はそれぞれのお名前でお一人ずつマイページ作成・参加申込が必要です。  
(筆頭者による同行者のまとめ申込はできません)
  - ・ 投稿時にアカウントを作成済みの方におかれましても、再度マイページの作成が必要となります。ご了承ください。アカウント作成ページには、日本語/英語の言語の切り替えが可能です。
  - ・ 学会員の方は9桁の会員番号入力が必要となります。
  - ・ 領収書はマイページよりダウンロードできます。ご不明な点は事務局までお問い合わせください。
2. 下記指定銀行口座に、お一人ずつお振込ください。
    - ・ 参加費の入金をもって申込完了となります。(注)お振込みは参加申込日から数日以内にお願いたします。
    - ・ 入金確認後、システムより入金確認のメールが届きます。それ以降、マイページより領収書のダウンロード等が可能となります。当日もマイページよりご参加ください。後援論文集のパスワードは、後日メールでお知らせするか、マイページに掲載することといたします。

#### <指定銀行口座>

銀行名: みずほ銀行 芝支店 (店番号: 054)

口座名: 一般社団法人廃棄物資源循環学会研究発表会  
シ)ハイキブ ツツゲ ヌツカガ ツイクキユハツビ ヨウカイ

口座番号: 普通 4196820

振込締切日: 2020年9月15日(火) 15時

- ・ お振込みはメールに記載されている「銀行振込管理番号」をご記入のうえ、  
参加申込者名でお願いします。
- ・ 振込み手数料はご負担願います。

#### 【重要事項】

※9月15日(火)を過ぎてもお振込がない場合は、後日参加費を請求させていただきます。

※参加申込者名と振込人名が違う場合は「参加受付番号・参加申込者名」「振込日」「振込金額」「振込人名」を事務局までお知らせください。(連絡先:jimu@jsmcwm.or.jp)

※ご入金後のキャンセルにつきましては理由を問わず一切ご返金はいたしかねますのでご了承ください。

### 問合せ先

廃棄物資源循環学会事務局(9~17時) TEL:03-3769-5099 FAX:03-3769-1492

# 参加・発表ガイドライン

## 参加者ガイドライン

参加者は注意事項を熟読のうえ、以下の当日の流れに従いご参加下さい。操作方法は【会場への参加方法】と【Zoom の使い方（別紙）】をご覧ください。

### ～注意事項～

- ❖ 会場 URL (ZoomURL) は学会参加者のみに提供しております。会場 URL をメール等で他者に伝えること、SNS 等で URL を公開することを禁止と致します。
- ❖ 発表の妨げになる行為はお控え下さい。
- ❖ 音声途切れる場合がありますが、サーバーダウンでない限り主催は責任を負いません。
- ❖ 質疑応答の時間以外での全体チャットの使用はお控え下さい。(座長及びホストが許可した場合を除く)
- ❖ Zoom での表示名を「氏名 (所属)」としてください。ただし、ポスターセッションでは、質疑を希望する講演番号を氏名の前に入れ、「講演番号ー参加者氏名 (所属)」にしてください。例：「A1-7-Pー廃棄物太郎 (循環研)」
- ❖ ポスターセッションでは、基本的に質疑応答を想定しており、9/14 より発表会 HP にてポスターPDF をダウンロード・印刷するようお願い致します。また、質疑時間を占有しないようご配慮下さい。
- ❖ トラブル対応状況については発表会 HP (<https://jsmcwm.or.jp/taikai2020/>) をご覧ください。

### ～当日の流れ～

1. 発表会のマイページにログインし、プログラムより会場に接続してください。詳細は【会場への参加方法】をご確認下さい。  
マイページ URL : <https://sv1.award-con.com/jsmcwm/LOGIN.php>
2. Zoom での表示名を、「氏名 (所属)」にしてください。ポスターセッションでは、質疑を希望する講演番号を氏名の前に入れ、「A1-7-Pー参加者氏名 (所属)」のようにしてください。ホストが表示名を確認し、講演番号のブレイクアウトルームに振り分けます。
3. Zoom 会場に参加後はマイク・ビデオをオフにしてください。
4. 接続後、画面共有で表示されている会場名、セッション名等を確認してください。
5. 口頭発表では、座長の進行に従い、質疑等をお願い致します。ポスターセッションでは、ホストが、参加者が希望する講演番号に従い、ブレイクアウトルームに振り分けます。その後、発表者と質疑を行って下さい。
6. セッション終了後は会場から退出下さい。途中退室・入室は自由です。

### ～誌上発表に対する質疑～

発表会のマイページにログインし、プログラムから各発表の詳細ページをご覧ください。9/17 (木) までに質問を投稿してください。発表者には 9/18 (金) の 13 時までに回答をお願いしています。詳細は【会場への参加方法】をご確認下さい。

### ～ポスターセッションについて～

ポスターセッション前に発表会 HP からポスターPDF をダウンロードして確認してください。当日、発表者は画面共有できませんが、各自のモニターサイズ次第で見にくい場合もあるので、印刷することを推奨します。

ポスター会場は、発表者別に複数あります。発表プログラムで会場を確認してください。

### ～Zoom 接続テスト～

マイクテストや回線の確認を行いたい方は以下の時間帯に限り実施してください。会場が開いているだけで、係のものがないとは限りないので、Zoom のマイクテストをご活用ください。当日トラブル回避のため、事前の接続テストにご協力ください。

事前：9/7 (月) 13 時半～16 時半、9/11 (金) 8 時半～13 時半 (URL はメールでお知らせ)

当日：セッション間の休み時間 (セッションが実施されていないときに限る)

## 口頭発表ガイドライン

発表者は注意事項を熟読の上、発表の準備並びに参加・発表をお願い致します。操作方法は、【会場への参加方法】と【Zoomの使い方：別紙】をご覧ください。

### ～注意事項～

#### 発表ファイルの作成・事前提出

- ❖ 当日、スムーズな進行のために**会場係**がファイル进行操作します。(発表者はファイル进行操作できません)。そのためアニメーションの多用はお控え下さい。
- ❖ 発表時に参加者がスクリーンショット等で画面をコピーすることができます。そのため公開を前提にファイルを作成して下さい。
- ❖ **発表ファイルの事前提出**にご協力ください。また、**ファイルの動作確認は9/15のみ可能です**(詳細は後述)。当日の提出・動作確認は受け付けられない場合があります。

#### 当日・発表時

- ❖ 原則、録音された音声による発表を認めません。
- ❖ 発表開始時刻に遅刻した場合は原則発表できません。発表予定時間を超過した場合は発表を打ち切られることがあります。なお、原則として、発表が中止になっても、以降の発表時間を繰り上げず予定時刻通り行います。
- ❖ Zoomでの表示名を「講演番号-氏名(所属)」としてください。例：A1-2-O-佐藤太郎(北大)
- ❖ 発表ではカーソルで指示して説明ができません。各自工夫をお願い致します(例えば、説明場所を述べるなど)。
- ❖ 発表のページ送りをするときは、「次、お願いします」等の指示をお願いします。その指示に従い、**会場係**がファイル进行操作します。

合わせて、参加者ガイドライン(ページ29)もご確認下さい。

### ～当日まで・当日の流れ～

#### 発表ファイルの事前提出、動作確認：

発表ファイルの形式は以下の通りです。

- 発表ファイル形式： pdf(推奨)  
pptx(Microsoft office 365 又は 2016 で動作するもの)

**9/15(火)**に下記要領でファイルを提出下さい。提出時にファイル動作を確認頂けます。

発表者のメールアドレスにZoomのURLをご案内します。下記の時間帯にURLにアクセスしてください。Zoomでの表示名を「講演番号-氏名(所属)」としてください。例：**A1-7-O-循環太郎(北大)**

Zoomのチャット機能を用いてファイルを提出いただきます。指示に従い、ファイルを提出してください。(画面共有にて提出及び動作確認のやり方を説明します)

**提出会場の時間帯：9/15(火) 8時半～20時※**

**ファイル名：講演番号**

※都合がつかない場合は、メールにてご提出下さい。受領の自動返信がありますのでご確認下さい。当日の動作確認は受け付けられない場合があります。

メールによる提出先：jsmcwm2020@gmail.com

**発表時間：発表10分、質疑応答：5分(交代時間も含む)**

#### 発表方法：

1. セッション開始の10分前までにマイページよりログインし、プログラムより会場に接続してください。詳細は【会場への参加方法】をご確認下さい。  
マイページURL：<https://sv1.award-con.com/jsmcwm/LOGIN.php>
2. Zoomでの表示名を、「講演番号-氏名(所属)」にして下さい。例：**A1-7-O-北大太郎(循環)**
3. Zoom会場に参加後はマイク・ビデオをオフにして下さい(発表時はオン)。
4. 座長の進行に従い、発表・質疑等をお願い致します。
5. 発表の経過時間を下図のように表示しますのでご確認下さい。
6. セッション終了後は会場から退出下さい。発表後、途中退室・入室は自由です。



図： 発表時にビデオビュー（赤枠）で経過時間表示

#### トラブル対応：

- ①事情により、講演時間に遅れる場合、②会場に接続できない場合は表紙に記載してある当日の問合せ先にご連絡下さい。
- 音声がはからない場合、マイクを確かめて、Zoomのマイクテストを実施してください。

#### ～口頭発表に関する問い合わせ～

（事前）担当：実行委員会，佐藤，[satomasahiro@eng.hokudai.ac.jp](mailto:satomasahiro@eng.hokudai.ac.jp), 011-706-7284

（当日）担当：実行委員会，石井，[k-ishii@eng.hokudai.ac.jp](mailto:k-ishii@eng.hokudai.ac.jp), 011-706-7284

## ポスター発表 & International Hybrid Session-poster presentation ガイドライン

発表者は注意事項を熟読の上、発表の準備並びに参加・発表をお願い致します。操作方法は、【会場への参加方法】と【Zoomの使い方：別紙】をご覧ください。

### ～注意事項～

#### 発表ファイルの作成

- ❖ ポスターはA4サイズ1枚（縦・横いずれも可）で作成し、ポスター上部に講演番号、題目、所属、氏名を明記してください。ポスターは専用ページに掲載され、参加者がダウンロードできるのでご了承下さい。
- ❖ A4サイズでも判別できるように文字や図の大きさに配慮をお願い致します。
- ❖ PDF化した際の文字化けなどの確認をお願い致します。

#### 当日・セッション時

- ❖ Zoomでの表示名を「発表者-講演番号-氏名（所属）」として下さい。例：発表者 - A1-7-P-廃棄物太郎（循環）
  - ❖ ポスターセッションの時間帯に、Zoom 会場にて質疑応答をして下さい。質疑応答の進行は発表者に一任します。
  - ❖ 質疑応答時に画面共有は可能ですが、発表に関係ない映像を流すなどの行為は禁止します。
  - ❖ 参加者は印刷などして事前にポスターを見ており、ポスター発表の時間帯では質疑応答を中心とすることを想定しています。なお、参加者のディスプレイの大きさによって共有された画面が見えづらい場合があることにご配慮下さい。
  - ❖ 当日は、会場係が会場を巡回し、トラブルがないかを確認します。
- 合わせて、参加者ガイドライン（ページ29）の注意事項もご確認下さい。



### ～当日まで・当日の流れ～

#### 発表ファイルの事前提出：

- 8/24（月）までに以下のメールアドレスにポスターPDFを送信して下さい。メールの件名とファイル名は以下とします。
- ポスター形式：pdf（A4サイズ、1枚、縦・横どちらでも可）
  - メールアドレス：jsmcwm2020@gmail.com
  - メール件名：ポスターPDF 提出、
  - ファイル名：講演番号発表者氏名 例：A1-1-P 北大太郎.pdf

#### ポスターの掲示：

発表者が実施する必要はありません、WEB上で開催期間中に学会参加者に公開されます。

- 質疑時間： 9/16（水）16:30～17:50 ポスター1  
9/17（木）13:15～14:35 ポスター2

#### 質疑方法：

1. セッション開始の10分前までにマイページにログインし、プログラムより会場に接続してください。講演番号によって会場が複数ございます。参加案内の発表プログラムでポスター1又はポスター2、タイムスケジュールで第1～第6会場のいずれかを確認して下さい。詳細は【会場への参加方法：ページ17】をご確認下さい。  
マイページ URL：<https://sv1.award-con.com/jsmcwm/LOGIN.php>
2. Zoomでの表示名を、「発表者：講演番号一氏名（所属）」にして下さい。例：発表者：A1-7-P-廃棄物太郎（循環）
3. Zoom会場に参加後はマイク・ビデオをオフにして下さい（発表時はオン）。
4. 講演番号に従いホストが講演者と参加者をブレイクアウトルームに振り分けます。
5. ブレイクアウトルームに入室後、質疑応答を開始してください。画面共有は可能です。
6. セッション終了後は会場から退出下さい。

#### ウェブ上での質問受付：

1. マイページにログイン後、プログラムをクリックし、表示されるメニューのプログラムをクリック
2. ポスター発表が行われる会場（発表プログラムを確認下さい）を確認し、第X会場をクリックする。  
発表プログラム：<https://jsmcwm.or.jp/taikai2020/files/2020/08/8.Presentation0830.pdf>
3. 発表者リストが表示されるので、自身の発表題目の詳細をクリックする
4. 自身の名前、回答を入力し、SENDをクリックする。



## ポスターセッションでのweb上の質疑

プログラムで第X会場を選択すると、ページ内にポスター発表者のリストが表示されます

ポスター発表A1 ← ポスター発表セッション(当日の表記は異なる場合があります)

16:30 | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○に関する研究  
17:50 | △△△△ (x x x x 大学) クリック 詳細 要旨DL 追加

16:30 | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○の評価  
17:50 | △△△△ (x x x x 大学) 詳細 要旨DL 追加

↓ 詳細クリック後、表示

Comment  
Name ○○○○

2020-09-14 10:48:18 ○○○○  
佐藤様：質問に回答いたします。  
テスト。

2020-09-14 10:47:07 佐藤 昌宏  
テストメッセージ

コメントは新着順に上部に表示されます。  
発表者は、どの質問に対する回答かわかるように配慮願います。  
(例えば、質問者の氏名を入れるなど)  
古いコメントはスクロールにより確認下さい。

### トラブル対応：

- ①事情により、質疑時間に遅れる場合、②会場に接続できない場合は表紙に記載してある当日の問合せ先にご連絡下さい。
- ブレークルーム内でトラブルが生じ、会場係の助けがある場合は、メニューバーの"ヘルプを求める"をクリックし、ホストにセッションに参加するように要請してください。

### ～ポスター発表に関する問い合わせ～

(事前)担当:実行委員会, 黄, [hwang@eng.hokudai.ac.jp](mailto:hwang@eng.hokudai.ac.jp), 011-706-6831

(当日)担当:実行委員会, 石井, [k-ishii@eng.hokudai.ac.jp](mailto:k-ishii@eng.hokudai.ac.jp), 011-706-7284

## 誌上発表ガイドライン

質問者・発表者は注意事項を熟読の上、参加・質疑対応をお願い致します。操作方法は、【会場への参加方法】をご覧ください。

### ～注意事項～

#### 当日の質疑

- ❖ 発表者は期限まで必ず回答するようにお願い致します。  
合わせて、参加者ガイドライン（ページ29）の注意事項もご確認下さい。

### ～当日の流れ～

誌上発表のページにて、質問の投稿、回答を行います（コメント投稿形式）。回答の締め切りは、9/18（金）の13時です。参加者には、9/17（木）までに質問を投稿するようにお願いしてあります。9/18以降に質問があった場合も可能な限り回答をお願い致します。

1. マイページにログイン後、プログラムをクリック  
マイページ URL : <https://sv1.award-con.com/jsmcwm/LOGIN.php>
2. ご自身の発表が第何会場かを確認し、第X会場をクリックする。  
発表プログラム URL : <https://jsmcwm.or.jp/taikai2020/files/2020/08/8.Presentation0830.pdf>
3. 発表者リストが表示されるので、自身の発表タイトルのアイコン（詳細）をクリックする
4. 自身の名前、回答を入力し、SEND をクリックする。

## 誌上発表におけるweb上の質疑

プログラムで第X会場を選択すると、ページ内に誌上発表のリストが表示されます

第1会場 誌上発表

ごみ発生・排出抑制 **誌上発表者のリスト(ページの下部のほうにあります)**

○○○○○○○○○○○○○○○○○○に関する研究  
△△△△ (x x x x 大学) 詳細 追加

○○○○○○○○○○○○○○○○○○の評価  
△△△△ (x x x x 大学) 詳細 追加

**↓ 詳細クリック後、表示**

**入力者の名前** **質問または回答入力**  
**Shift+Enterで改行**

Comment  
Name ○○○○  SEND

2020-09-14 10:48:18 ○○○○  
佐藤様：質問に回答いたします。  
テスト。

2020-09-14 10:47:07 佐藤 昌宏  
テストメッセージ

**コメントは新着順に上部に表示されます。  
発表者は、どの質問に対する回答かわかるように配慮願います。  
(例えば、質問者の氏名を入れるなど)  
古いコメントはスクロールにより確認下さい。**

## オンライン会場への参加方法

マイページへのログイン (<https://sv1.award-con.com/jsmcwm/LOGIN.php>)

### マイページへのログイン画面



お問い合わせ

**LOGIN**

E-mail

password

Login

> アカウントを作成 ← はじめてアクセスし、アカウントがない方  
> パスワードを忘れた場合  
> お問い合わせ

← アカウントを作成したときのメールアドレス  
← パスワードを入力

▲  
PAGE TOP

### ログイン後、マイページ(参加登録済み)



お問い合わせ

マイページ

講演登録

参加登録

プログラム

ユーザー情報

### マイページ

ログアウト

廃棄物 太郎 様

参加登録詳細

第31回廃棄物資源循環学会研究発表会

#### 参加登録済み

\*画面上部の[プログラム]よりオンライン会議を視聴できます。

振込完了後、事務局が確認して登録完了

### チェック済み講演一覧

チェックした講演はありません。

当日の表記と多少異なります。

ログイン後、マイページ(参加登録済み)

お問い合わせ

マイページ 講演登録 参加登録 プログラム ユーザー情報

マイページ 必ず事前登録が必要 各セッションの入り口

ログアウト  
廃棄物 太郎

Zoom会場への参加方法

プログラムをクリック後、以下のページが表示されます

プログラム

ログアウト 様

第1会場	第2会場	第3会場	第4会場
第5会場	第6会場	第7-1会場 (Room 7-1)	第7-2会場 (Room 7-2)
第7-3会場 (Room 7-3)	第7-4会場 (Room 7-4)	第7-5会場 (Room 7-5)	第8会場
第9会場			

①参加する会場をクリック

第1会場 ← 現在表示している会場

第1会場 リアルタイム講演

全日程 2020/9/16 2020/9/17 2020/9/18

③現在表示している会場 (Zoom)への参加 パナーをクリック

2020/9/16

ごみ発生・排出抑制 発表時刻になりましたらZoomで参加して下さい。 URL: https://zoom.us/j/2020091601? zoom

1. マイページのプログラムをクリック
2. 参加する会場をクリック
3. 表示される Zoom のパナーをクリック\*

※1 一つの会場に一つの Zoom URL を設定しています。パスワード (パスコード) が必要であれば、3120200916 と入力して下さい、パスワードは全会場共通です。

## 誌上发表におけるweb上の質疑

プログラムで第X会場を選択すると、ページ内に誌上发表のリストが表示されます

第1会場 誌上发表

ごみ発生・排出抑制 **誌上发表者のリスト(ページの下部のほうにあります)**

○○○○○○○○○○○○○○○○○○に関する研究  
△△△△ (x x x x 大学) 詳細 追加

○○○○○○○○○○○○○○○○○○の評価  
△△△△ (x x x x 大学) 詳細 追加

**↓ 詳細クリック後、表示**

**入力者の名前** **質問または回答入力  
Shift+Enterで改行**

Comment  
Name ○○○○  SEND

2020-09-14 10:48:18 ○○○○  
佐藤様：質問に回答いたします。  
テスト。

2020-09-14 10:47:07 佐藤 昌宏  
テストメッセージ

**コメントは新着順に上部に表示されます。  
発表者は、どの質問に対する回答かわかるように配慮願います。  
(例えば、質問者の氏名を入れるなど)  
古いコメントはスクロールにより確認下さい。**

### 協賛企業展示

発表会 HP よりご覧いただけます。

<https://jsmcwm.or.jp/taikai2020/exhibition2/>

### 市民展示

発表会 HP よりご覧いただけます。

<https://jsmcwm.or.jp/taikai2020/exhibition1/>

## Zoomの使い方

以下の操作が必要となります。特に、太字について確認下さい。

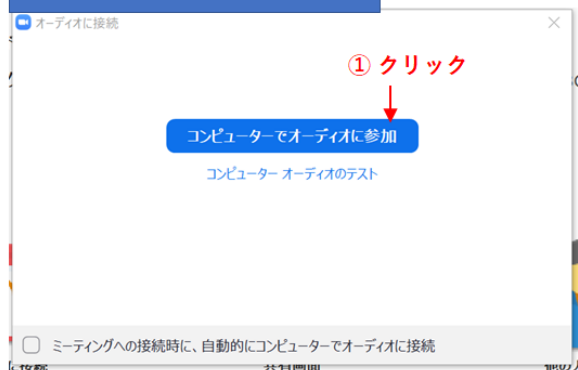
- マイク・ビデオのオン・オフ
- マイクテスト
- 座長、会場係、ホストの確認方法
- **表示される自身の名前を変更**
- ビデオ以外の参加者を非表示（カメラオンの参加者だけをビュー）
- 挙手する（質疑応答）
- チャット、宛先指定してチャット
- **ブレイクアウトルームへの参加・退出（ポスターセッション）**
- ブレイクアウトルームにホストを呼ぶ（ポスターセッション）
- 会場からの退出
- （口頭発表者のみ）チャットを使ったファイル送信

### 1. 会場参加方法

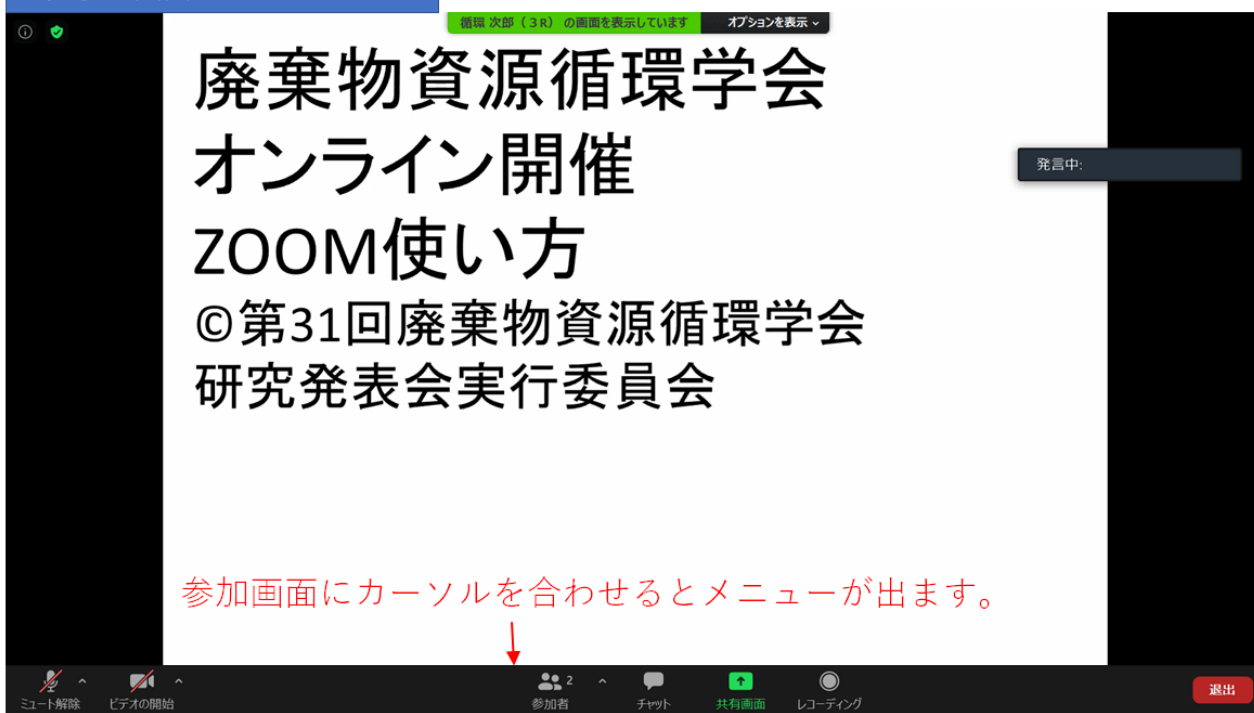
#### 1.プログラムの会場をクリック後、ブラウザ画面

以下はアプリでの説明（ブラウザで起動した場合は異なります）

### 3. ミーティングに参加後

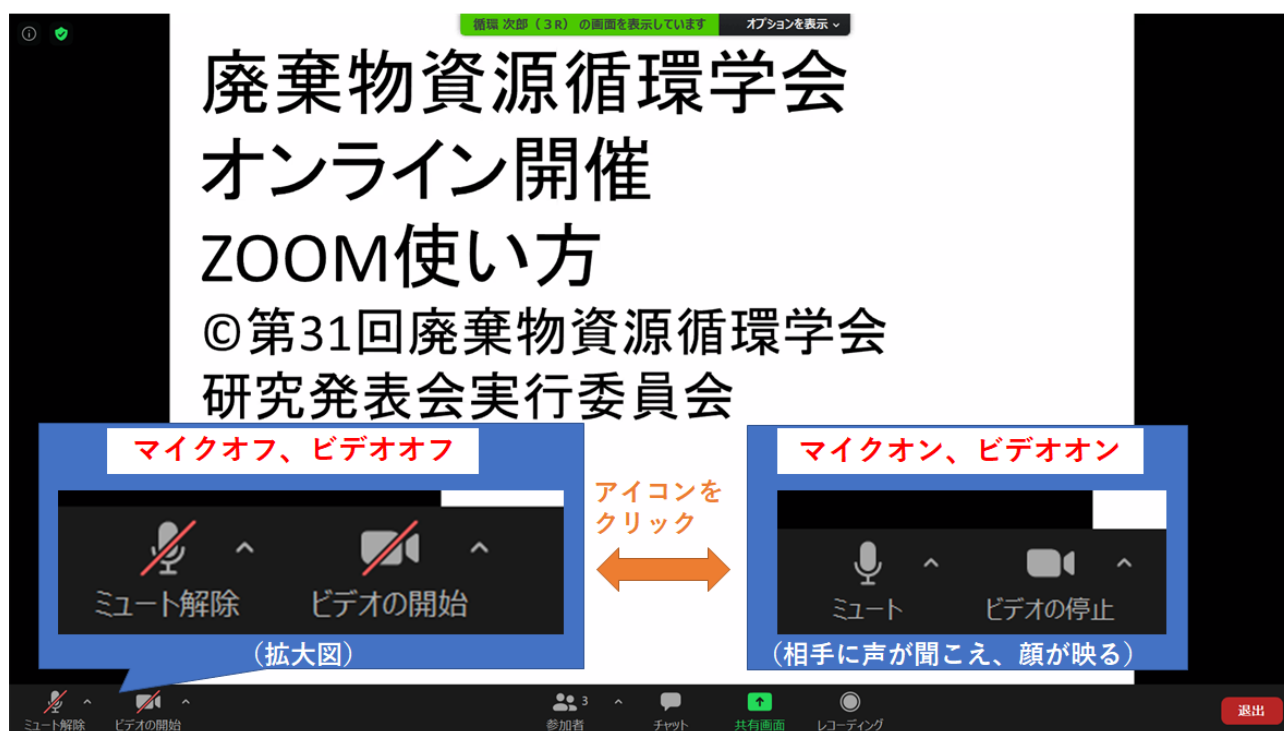


### 4. 参加画面



参加画面にカーソルを合わせるとメニューが出ます。

## 2. マイク・ビデオのオン・オフ

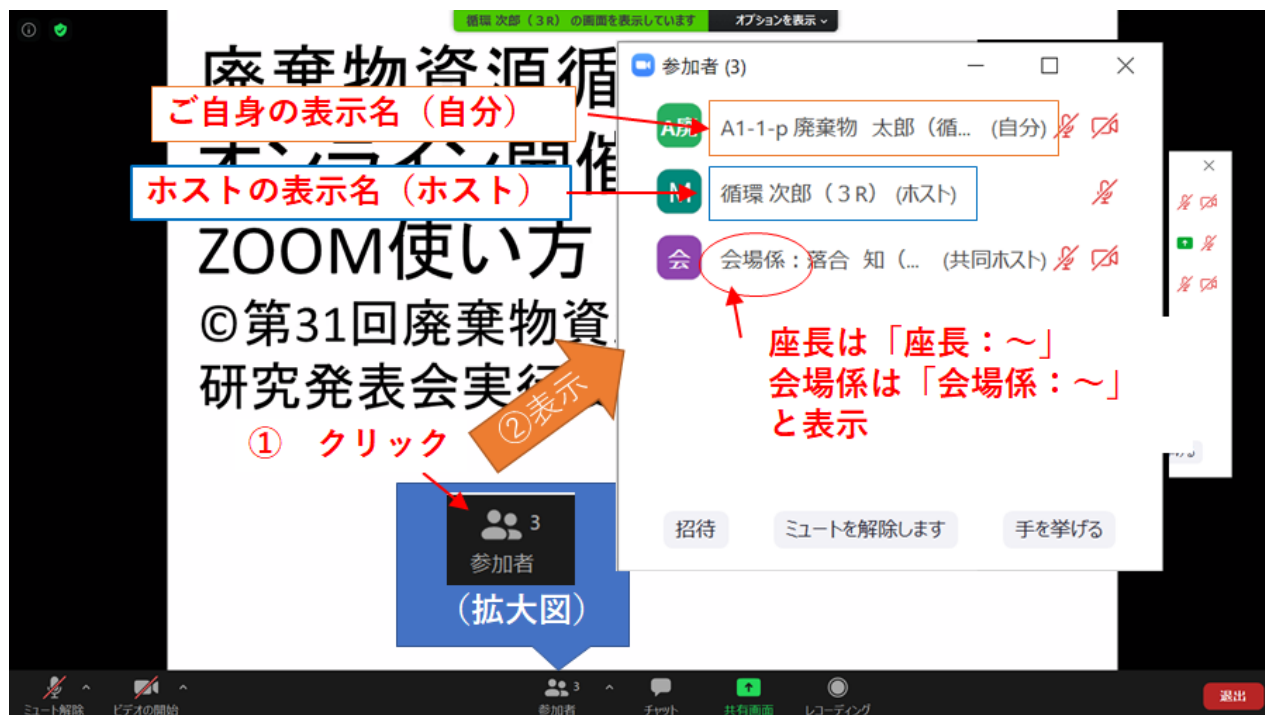


## 3. 参加後のマイクテスト（マイクオフで実施できます）

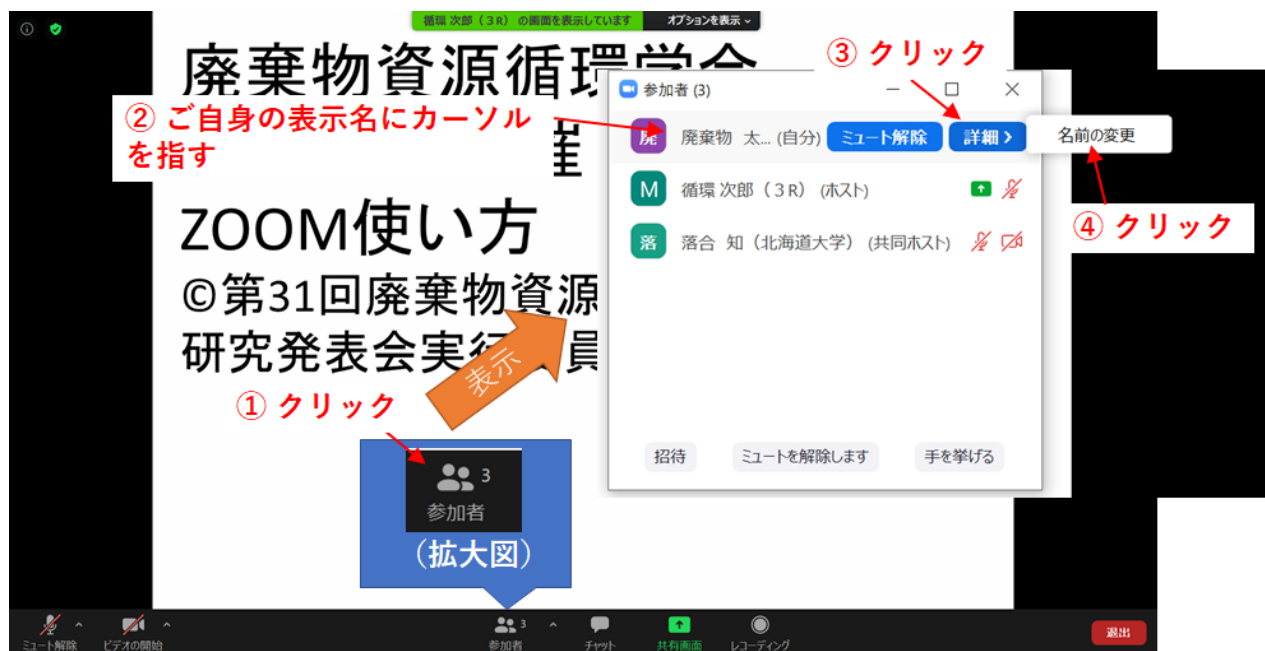




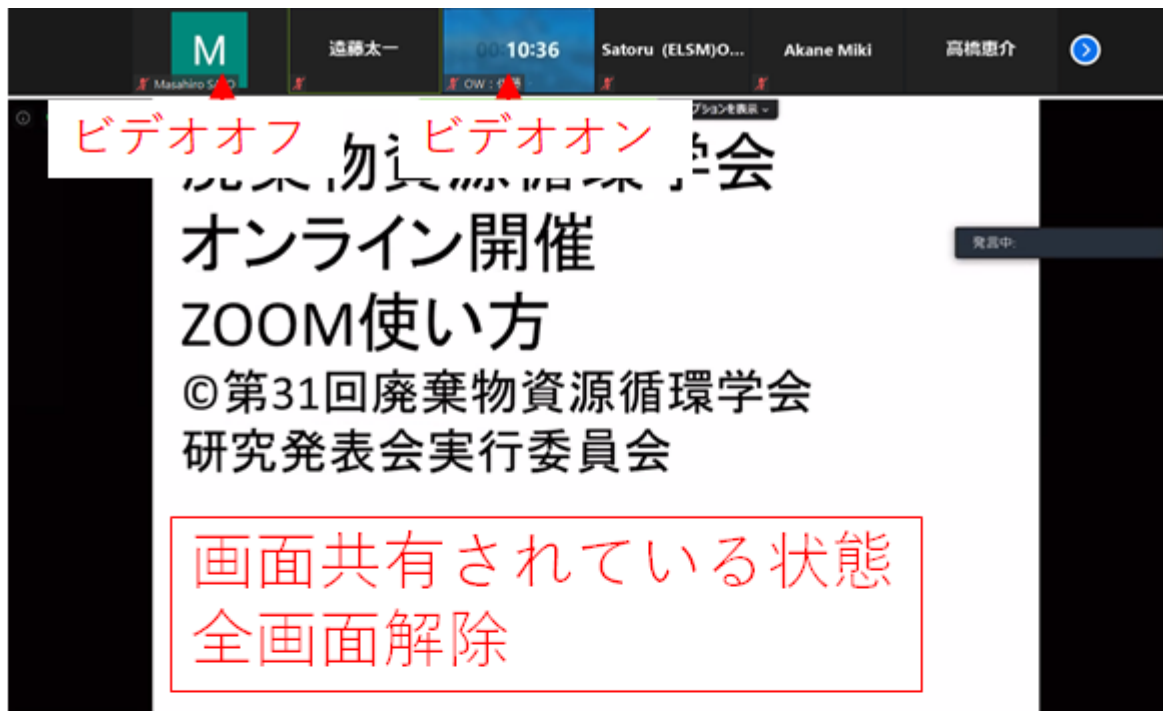
#### 4. 座長やホスト・会場係の確認（参加者リスト）



#### 5. 表示される自身の名前を変更



## 6. ビデオ以外の参加者を非表示



## 7. 挙手する（質疑応答）

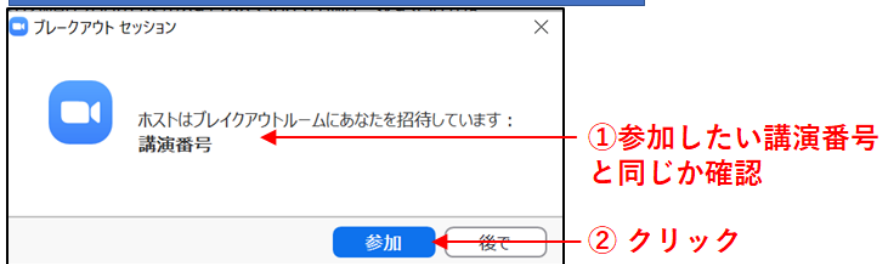


## 8. チャット、宛先指定してチャット



## 9. ブレークアウトルームへの参加・退出方法（ポスターセッション）

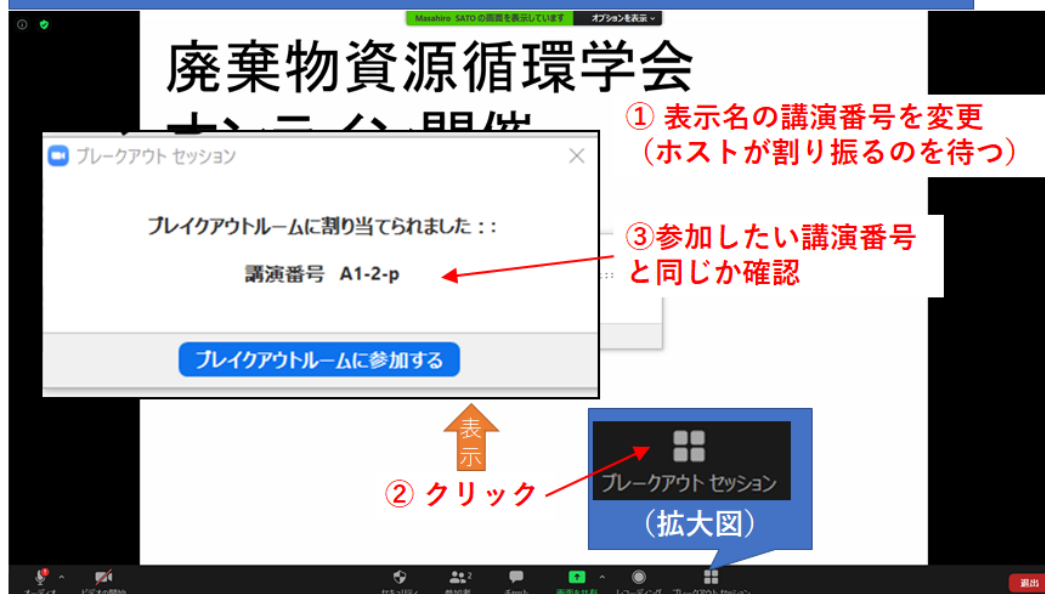
### 1. セッション開始後、表示ダイアログ



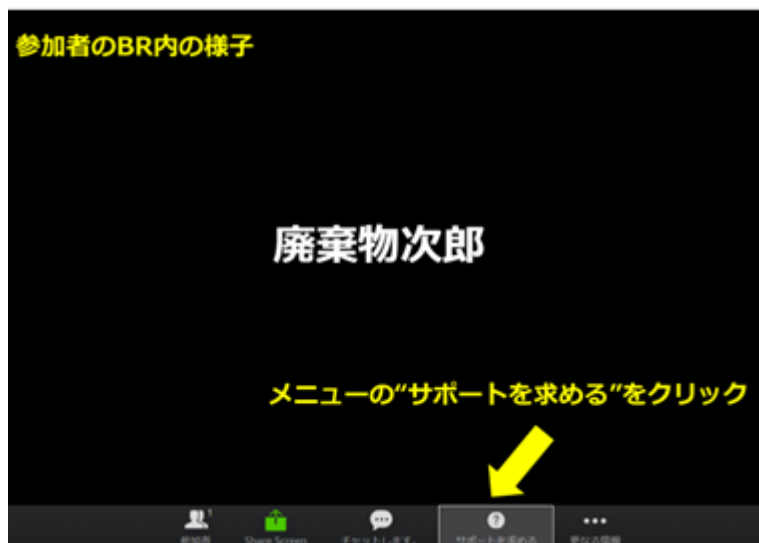
### 2. ブレークアウトセッション画面



### 3. セッション退出後、別の講演に移動する場合



## 10. ブレークアウトルームにホストを呼ぶ（ポスターセッション）



## 11. 会場からの退出



## 12. (口頭発表者のみ) チャットを使ったファイル送信

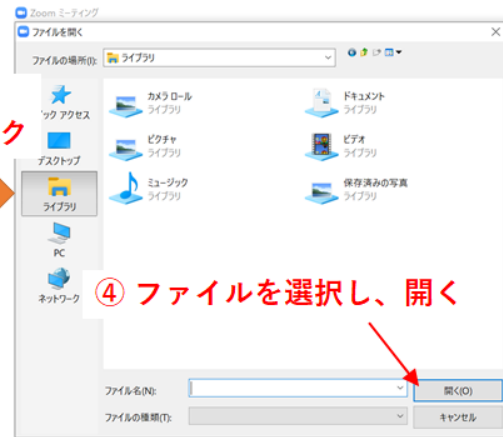
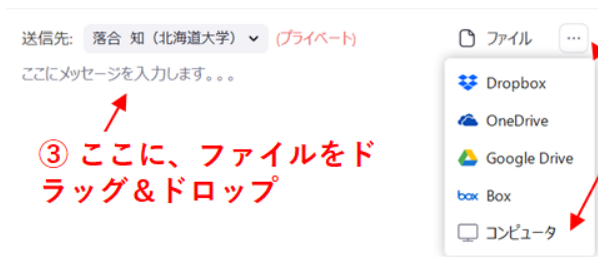
### 1. チャットウィンドー



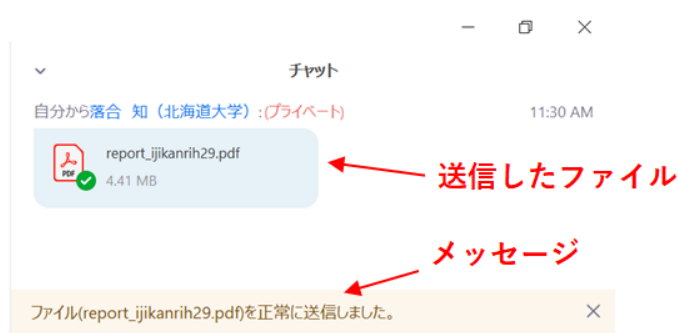
### 2. 送信先を変更



### 3. ファイルを送信



### 4. 送信後の画面



## 実行委員

氏名	所属	役職/担当
吉田 英樹	室蘭工業大学	実行委員長
東條 安匡	北海道大学	幹事長
石井 一英	北海道大学	幹事長
松藤 敏彦	北海道大学	相談役

### 実行委員(敬称略)

阿賀 裕英	(地独)北海道立総合研究機構環境・産業技術 環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所	オンラインワーキング
阿部 公一	株式会社ドーコン	企業展示
阿部 順	株式会社タクマ北海道支店	企業展示
五十嵐敏文	北海道大学	企画
石川 志保	北海道大学	オンラインワーキング
石塚 祐江	特定非営利活動法人環境 り・ふれんず	市民展示
伊藤 俊裕	岩田地崎建設株式会社	企業展示
稲野 浩行	(地独)北海道立総合研究機構環境・産業技術 環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所	施設見学会
岩渕 和則	北海道大学	企画
大嶋 武	株式会社北清	企業展示
大沼 進	北海道大学	企画
岡本俊幸	札幌市環境局環境事業部循環型社会推進課	企画
押谷 一	酪農学園大学	企画
落合 知	北海道大学	オンラインワーキング
小幡 和彦	株式会社ドーコン	企業展示
梶川 浩二	北海道環境生活部循環型社会推進課	企画
片山 靖之	株式会社プランテック	企業展示
川勝 富士男	株式会社イー・エム・エス	企業展示
久保田 学	公益財団法人北海道環境財団	企画
小崎 洋一	株式会社苫小牧清掃社	企業展示
佐藤 太一	日立造船株式会社北海道支社	企業展示
佐藤 昌宏	北海道大学	会場
品川 祐司	株式会社神鋼環境ソリューション北海道支店	企業展示
高草木 誠	日鉄エンジニアリング株式会社北海道支店	企業展示
高杉 政則	株式会社未来開発コンサルタント	企業展示
丹羽 道正	公益社団法人北海道浄化槽協会	企業展示
寺嶋 忠雄	特定非営利活動法人北のごみ総合研究所	市民展示
時田 茂	公益社団法人北海道産業資源循環協会	企業展示
中村 恵子	健康・環境デザイン研究所	施設見学
西江 栄二	株式会社フジタ北海道支店	企業展示
原田 利明	一般社団法人北海道環境保全協会	企業展示
東 飛朗	特定非営利活動法人環境 り・ふれんず	施設見学
広吉 直樹	北海道大学	企画
黄 仁姫	北海道大学	ポスター発表
福士 明	北海学園大学	企画
松尾 孝之	北海道大学	意見交換会
溝口 翔	札幌市環境局環境事業部循環型社会推進課	市民展示
宮竹 史仁	帯広畜産大学	企画
和田 博夫	北海道環境生活部循環型社会推進課	施設見学
山本 伸也	荏原環境プラント株式会社	企業展示
吉野 広一	北海道循環資源利用促進協議会	企業展示

本部  
崎田省吾 広島工業大学  
鈴木慎也 福岡大学  
高橋史武 東京工業大学  
布浦鉄兵 東京大学  
北條俊昌 東北工業大学  
早田輝信 廃棄物資源循環学会事務局長

---



## オンラインワーキング

佐藤 昌宏  
落合 知

北海道大学  
北海道大学

リーダー  
サブリーダー

石井 一英  
石垣 智基  
石森 洋行  
伊藤 新  
北村 洋樹  
小宮 哲平  
小山 光彦  
大下 和徹  
崎田省吾  
鈴木慎也  
多島 良  
東條 安匡  
中久保 豊彦  
布浦鉄兵  
黄 仁姫  
藤山 淳史  
藤原 大  
水谷 聡  
水原 詞治  
矢野 順也  
吉田 英樹

北海道大学  
国立環境研究所  
国立環境研究所  
株式会社エックス都市研究所  
国立環境研究所  
九州大学  
東京工業大学  
京都大学  
広島工業大学  
福岡大学  
国立環境研究所  
北海道大学  
お茶の水女子大学  
東京大学  
北海道大学  
北九州市立大学  
株式会社神鋼環境ソリューション  
大阪市立大学  
龍谷大学  
京都大学  
室蘭工業大学

協賛企業団体

<https://jsmcwm.or.jp/taikai2020/exhibition2/>

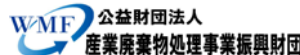
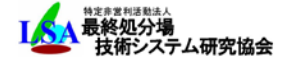
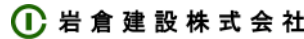
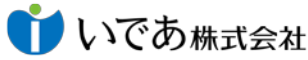


企業団体名：口数別・五十音順

協賛企業団体



株式会社イー・エム・エス



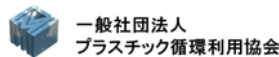
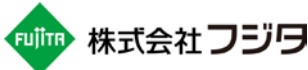
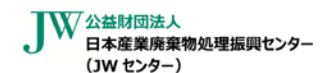
一般社団法人 持続可能社会推進コンサルタント協会



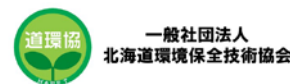
株式会社 島津テクノリサーチ



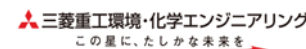
TESCO テスコ株式会社



北海道エア・ウォーター株式会社



株式会社マテック



企業団体名：口数別・五十音

# タイムスケジュール

## 第31回研究発表会 オンライン版

		第1会場 (300名)	第2会場 (300名)	第3会場 (300名)	第4会場 (300名)	第5会場 (300名)	第6会場 (300名)	第7会場 (300名)	第8会場 (500名)	第9会場 (500名)	展示		
9月16日 (水)	9:00-9:45 接続テスト・オンライン事務局開始												
	10:00-11:30	A1 ごみ発生・排出抑制	B1 廃棄物管理・計画(1)	C1 容器包装およびプラスチック	D1 焼却(1)	E1 最終処分場の構造・設計	F1 有害性化合物・金属				予備会場	ポ ス タ ー 展 示 市 民 W e b 展 示	
	13:00-14:30	A2 物質フロー分析	B2 廃棄物管理・計画(2)	C2 廃電気電子製品・自動車・電池	D2 焼却(2)	E2 最終処分場の維持管理・モニタリング	F2 除染廃棄物の性状・処理	I2 国際セッション					
	14:45-16:15	B3 災害廃棄物の管理・計画(1)	C3 無機性廃棄物・建設廃棄物	D3 排ガス処理・監視	E3 浸出水・発生ガス			I3 国際セッション					
	16:30-17:50 ポスター発表質疑							16:30-17:50 ポスター発表質疑					
PA1	PB1	PC1	PD1	PE1	PF1	PI1-1~PI1-5							
9月17日 (木)	9:00-10:30	A4 産業廃棄物	B4 災害廃棄物の管理・計画(2)	C4 有機物の分能回収	D4 発電・熱利用			I4 国際セッション		予備会場	ポ ス タ ー 展 示 市 民 W e b 展 示		
	10:45-12:15	A5 住民意識・環境教育	B5 ごみ文化・歴史	C5 有機性廃棄物	D5 焼却主灰・飛灰	E5 有害物質の溶出・除去		I5 国際セッション					
	13:15-14:35 ポスター発表質疑							13:15-14:35 ポスター発表質疑					
	PA2	PB2	PC2	PD2	PE2	PF2	PI2-1~PI2-5						
												15:00-15:30 第31回研究発表会開催セレモニー(一般公開) 15:30~17:00 特別プログラム(一般公開)	
9月18日 (金)			C6 メタン発酵・燃料化	G1 若手の会			第EX1会場 I6 国際シンポジウム(一般公開)	10:00-11:35 環境学習フォーラム(一般公開)		予備会場	ポ ス タ ー 展 示 市 民 W e b 展 示		
	13:00-14:30	G2 バイオマス系 廃棄物研究会	G3 ごみ文化・歴史 研究会	G4 リサイクルシステム・ 技術研究会		G5 埋立処理処分 研究会		13:00-14:30 市民フォーラム (一般公開)					
	14:45-16:15	G6 産廃 研究会	G7 廃棄物計画 研究会				G8 物質フロー 研究会						
												19:00-20:30 第EX2会場 G9 緊急セミナー (一般公開) 災害廃棄物研究会	

第31回研究発表会 各ポスター発表の会場割り

	一般セッション						International session				
	第 1 会場	第 2 会場	第 3 会場	第 4 会場	第 5 会場	第 6 会場	第 7-1会場 (Room7-1)	第 7-2会場 (Room7-2)	第 7-3会場 (Room7-3)	第 7-4会場 (Rom7-4)	第 7-5会場 (Room7-5)
16日	<b>PA1</b>	<b>PB1</b>	<b>PC1</b>	<b>PD1</b>	<b>PE1</b>	<b>PF1</b>	<b>PI1-1</b>	<b>PI1-2</b>	<b>PI1-3</b>	<b>PI1-4</b>	<b>PI1-5</b>
	A1-7-P	B1-7-P	C2-6-P	D2-6-P	E2-5-P	F1-7-P	IA-1	IA-5	IB-1	IB-5	IC-1
	A2-7-P	B3-7-P	C3-7-P	D5-6-P	E2-7-P	F1-9-P	IA-2	IA-6	IB-2	IB-6	IC-2
	A2-9-P		C4-5-P C5-7-P C5-9-P		E3-6-P E5-6-P	F2-7-P	IA-3 IA-4	IA-7	IB-3 IB-4	IB-7	IC-3 IC-4
17日	<b>PA2</b>	<b>PB2</b>	<b>PC2</b>	<b>PD2</b>	<b>PE2</b>	<b>PF2</b>	<b>PI2-1</b>	<b>PI2-2</b>	<b>PI2-3</b>	<b>PI2-4</b>	<b>PI2-5</b>
	A1-8-P	B3-6-P	C3-6-P	D3-6-P	E2-6-P	F1-8-P	IC-5	IC-9	ID-1	IE-1	IF-1
	A2-8-P	B4-5-P	C4-4-P	D5-7-P	E2-8-P	F2-6-P	IC-6	IC-10	ID-2	IE-2	IF-2
	A5-7-P		C4-6-P C5-8-P C6-7-P		E3-7-P E5-7-P	F2-8-P	IC-7 IC-8	IC-11 IC-12	ID-3 ID-4	IE-3 IE-4	IF-3

## トラブル・緊急対応

開催状況（トラブルや緊急対応）については、研究発表会専用ページまたは、登録者のマイページでできる限りお知らせします。

<https://jsmcwm.or.jp/taikai2020/>

<https://sv1.award-con.com/jsmcwm/LOGIN.php>

### 緊急連絡先等について

- ・台風や地震等の緊急時における研究発表会開催の可否等については、上記の研究発表会専用ページでお知らせします(携帯電話の web 閲覧機能には対応していません)。
- ・緊急時においては、北海道大学(本部)への問い合わせは厳にお控えください。
- ・また学会事務局への問い合わせもつながりにくくなることが予想されますのでお控えください。

### 事務局連絡先

- ・廃棄物資源循環学会事務局: Tel. 03-3769-5099 またはメール[jimu@jsmcwm.or.jp]

### ～お問い合わせ～

ガイドライン全般に関する問い合わせ

担当：実行委員会, 佐藤, satomasahiro@eng.hokudai.ac.jp, 011-706-7284

当日のトラブル, ご意見など

担当：実行委員会, 石井, k-ishii@eng.hokudai.ac.jp, 011-706-7284, (携帯) 090-9522-5904

### ～口頭発表に関する問い合わせ～

(事前) 担当：実行委員会, 佐藤, satomasahiro@eng.hokudai.ac.jp, 011-706-7284

(当日) 担当：実行委員会, 石井, k-ishii@eng.hokudai.ac.jp, 011-706-7284

### ～ポスター発表に関する問い合わせ～

(事前) 担当：実行委員会, 黄, hwang@eng.hokudai.ac.jp, 011-706-6831

(当日) 担当：実行委員会, 石井, k-ishii@eng.hokudai.ac.jp, 011-706-7284

### ～誌上発表に関する問い合わせ～

(事前) 担当：実行委員会, 佐藤, satomasahiro@eng.hokudai.ac.jp, 011-706-7284

(当日) 担当：実行委員会, 石井, k-ishii@eng.hokudai.ac.jp, 011-706-7284

### ～企業展示・市民展示に関する問い合わせ～

担当：実行委員会, 石井, k-ishii@eng.hokudai.ac.jp, 011-706-7284